

株式会社富士通ラーニングメディア

東京都港区港南2-13-34 NSS-IIビル 〒108-0075

Tel.0120-55-9019

<http://www.knowledgewing.com/>



## FUJITSU 人材育成・研修サービス 新入社員研修サービス ～2019年度版～



# 富士通ラーニングメディアの新入社員研修サービス

## はじめに

私たちは、新入社員の「自ら成長する力」を鍛える研修カリキュラムと運営によって、「プロフェッショナルとして成長し続ける人材の核」作りをご支援します。

近年、「働き方改革」のキーワードに代表されるように、仕事に対する価値観が多様化しています。新入社員の価値観もさまざまです。そのような状況の中で、企業や個人には、成果を上げながらも、さらに仕事を効率化していくことが求められています。

私たちは新社員に対し、生産性を高めるための動機付けを行い、研修終了後に高いモチベーションを持った人材になっていただくことを目指して研修を運営いたします。

## 2018年度 新入社員研修実績(上期)は以下のとおりです (2018年8月)。

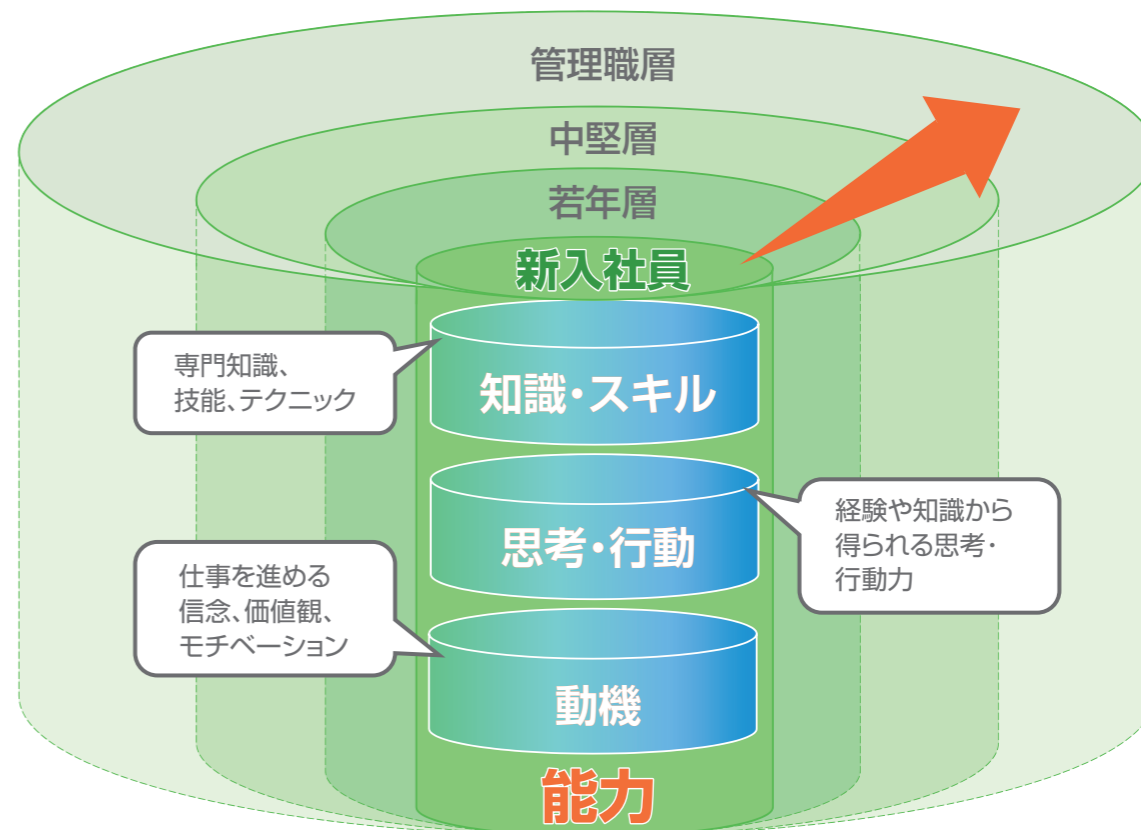
- ・新入社員専用カリキュラム： 250社 850名
- ・お客様個別開催： 153社 5,763名

## 目次

■ コンセプト	P.1
■ 新入社員研修の特長	P.2
■ 2019年度トピックス 新設コース「新入社員のための情報セキュリティリテラシー」のご紹介	P.5
■ 人材像別育成プラン	P.6
■ 開催スケジュール	P.8
■ コース概要	
■ ビジネススキル	P.12
新入社員のためのシゴトのキホン	
仕事の進め方・マナー編／ロジカルシンキング編	
文書作成編／コミュニケーション編	
ビジネススキル総合演習++	
新入社員のためのプロジェクトのキホン	
新入社員のためのフォローアップ研修～プロフェッショナルを目指して	
■ ITプロフェッショナル共通	P.16
新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～	
新入社員のためのロジック研修～アルゴリズム編～	
新入社員のための情報セキュリティリテラシー	
新入社員のためのITプロへの第一歩～最新技術動向とビジネス作法～	
■ ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)	P.20
新入社員のためのロジック研修 (Java、VB.NET、C#、C、COBOL)～ロジック構築力徹底トレーニング	
新入社員のためのシステム研修 (Java、VB.NET、C#、C、COBOL)～システム開発プロジェクト疑似体験	
新入社員のための組込みソフトウェア技術研修	
C言語プログラミング／組込みプログラミング／開発体験	
■ ITプロフェッショナル(システム基盤)	P.26
新入社員のためのシステム基盤構築研修	
■ ITソリューションセールス	P.28
新入社員のためのITソリューションセールス研修	
IT基礎知識／ソリューションプロセスの理解／提案実践	
■ 情報システム部門配属者	P.30
情報システム部門配属者向け新入社員研修	
1～基礎知識編／2～要素技術編／3～疑似体験編	
■ おすすめコース	
■ おすすめ特集	P.32
■ 内定者向け研修	P.35
■ 若年層向け研修	P.37
■ 指導者向け研修	P.40
■ お客様個別開催研修(オンサイト・トレーニング)	P.41
■ 研修運営の効率アップを実現する受講管理システム (KnowledgeC@fe)	P.42
■ お申込み方法	P.43

本書に掲載している価格は、2018年8月現在の価格(税別)です。  
最新の情報は当社研修サービスサイト (<http://www.knowledgewing.com/kw/>) でご確認ください。

富士通ラーニングメディアの**新入社員研修**は、**プロフェッショナル**として成長し続ける人材の**核**をつくります



**能力**には3つの要素があり、各階層により育成すべき内容は変わります。  
新入社員時は、その先の**能力向上**を意識し、**基本要素**を固める必要があります。

### 動機

やる気の醸成  
働く・仕事をする意味付け  
役割の認識

### 思考・行動

深掘・熟考  
常に前進  
果敢に挑戦  
己を把握、強みを伸長、弱みを克服

### 知識・スキル

ITスキル基礎  
ビジネススキル基礎

新入社員研修では、上記の**能力**の**核**の育成をサポートします。

新入社員研修後も現場の最前線で活躍できるよう、  
長期的に階層別、職種別研修で**能力向上**を支援します。



## 2019年度のポイント

### “仕事の生産性”を意識する

富士通ラーニングメディアの新入社員研修では、**限られた時間の中でも最大のパフォーマンスを発揮し、向上の努力ができる人材の育成**を目指します。仕事(学習)の質を高め、効率よく働くことが、自己と組織の成長につながることを動機づけます。

能力の3要素を育てる取り組み

知識・スキル

特長1. 人材像別カリキュラムで知識・スキルを積み上げる

ITプロフェッショナル  
(アプリケーション開発)  
基本技術と動作を身につけ、  
自立したエンジニアを目指す。

ITソリューションセールス  
ITソリューションのベースとなる  
スキルを備えた人材を目指す。

配属に向けた総仕上げ

組織で働くイロハと  
お客様起点の理解

IT基礎知識の習得

社会人へのマインドチェンジ

ITプロフェッショナル  
(システム基盤)  
システム基盤の全体像と  
工程を理解し、構築ができる  
エンジニアを目指す。

情報システム部門配属者  
情報システムの面から業務を  
リードする人材を目指す。

思考・行動

特長2. 業務を体験してコツをつかみ、経験を活かして挑戦する

「滞り」や「失敗」を繰り返しながら、  
前進するコツをつかむ。  
(＝経験値を蓄積する。)

「成功」を体験し、自信をつける。  
(＝経験値として身につける。)

経験値を活かして  
自分でやる

自分でやる

一緒にやる  
ハンズオン。  
上手な人を真似る。

講師や事務局は、受講者の思考や行動の変化を見守り、よい経験値を積めるようにアドバイスをしたり、課題を与えたりします。困難な場面を最良の体得の場に替え、受講者が自力で進めるように支援します。

動機

特長3. 仕事をする意味や価値を見出し、挑戦し続ける

学生から社会人への意識変革

「新入社員研修で学ぶこと」は、  
単なる受講ではなく業務である。

研修会場 = 職場

研修 = 業務

講師 = 上司(先輩)

受講者 = 部下(後輩)、同僚

目指す人材像

信頼できるビジネスパーソン

プロフェッショナルとして成長し  
続ける力を備えた人材

仕事をする  
意味とは？

会社からの  
期待とは？

自分がやるべき  
ことは？

成長を促す取り組み

※各コースで実施する取り組みは、各コースの概要ページでご確認ください。

名称	概要	アイコン
スピーチ トレーニング	決められた時間内に自分の考えを分かりやすく相手に伝えるトレーニングです。ビジネスシーンで人前で話す際の言葉遣い、立ち居振る舞いを意識しながら実践します。	スピーチ
ビジネススキル トレーニング	ビジネスパーソンの基本動作(マナーやコミュニケーション)の体得を目的に、研修で学んだスキルをケースに応じて実践します。	ビジトレ
KPTによる 振り返り	研修中の作業を振り返り、改善活動をするための取り組みです。グループで継続すること(Keep)、課題(Problem)、改善のために取り組むこと(Try)について日々話し合います。	KPT
ビジネススキル チェック	研修開始時と終了時に、「ビジネススキルチェックシート」を使って自分のスキルを評価し、受講前後の比較によりビジネススキルに関する成長度合いを測ります。事後のチェックにおいて不安が残るスキル項目は、自分自身の達成目標を明確にし、繰り返し学習します。	BSチェック
理解度テスト	コース終了時にテストを実施し、知識の定着度を測定します。一部のコースでは研修の前後にテストを実施し、スキルの伸びを確認します。	テスト
リフレクション レビュー	実務に活用できるレベルでの知識の定着を目的とし、重点学習項目を自分の言葉で解説します。聞く側も、解説に対する意見を述べて自身と解説者の理解を深めます。	Rレビュー
電子教材	「電子教材コース」では、コース教材の一部を電子(PDFファイル)化しています。電子教材は検索性がよく、タブレットで持ち運びも手軽、しかもペーパーレスでエコロジーです。	電子教材

【電子教材コース限定】電子教材の活用方法

電子教材は、タブレット(※1)や研修用PCの画面で閲覧でき、さらにメモの書き込みも可能です。

コース教材

電子教材  
(PDFファイル)

手軽で  
便利そう

タブレット

キーワードの検索

メモの入力

★テスト範囲

ハイライトで目立たせる

DBMSは、DataBase Managemen

※1 電子教材コースの受講者には、一人1台、電子教材閲覧用タブレットを該当コース受講期間中貸与します。  
※2 電子教材配信システムKnowledgeR@ckを使用します。

受講者の成長を把握するサービス

※各コースで実施する取り組みは、各コースの概要ページでご確認ください。

名称	概要	アイコン
日報	受講者は毎夕、Webシステムで「新人研修日報」を入力し、受講の成果や所感を育成ご担当者様へ報告します。	日報
成果発表会	受講者が研修の成果を発表する機会です。受講者の成長した姿をご覧いただけます。受講者自身で発表資料を作成し、発表方法を考え、研修の成果をプレゼンテーションします。	発表会
個人カルテ	理解度テストやスキルの測定の結果、講師による評価コメントをまとめた「個人カルテ」を発行します。	カルテ

【日報(Webシステム)】 ◆ 受講状況をリアルタイムに確認



写真はイメージです。

育成ご担当者様は専用のWebシステムで受講状況をリアルタイムに閲覧できます。また、掲示板機能により、研修会場内の受講者との双方向コミュニケーションも可能です。受講実績データは、ダウンロード※してお役立てください。  
※CSV形式（日報のみPDF形式）

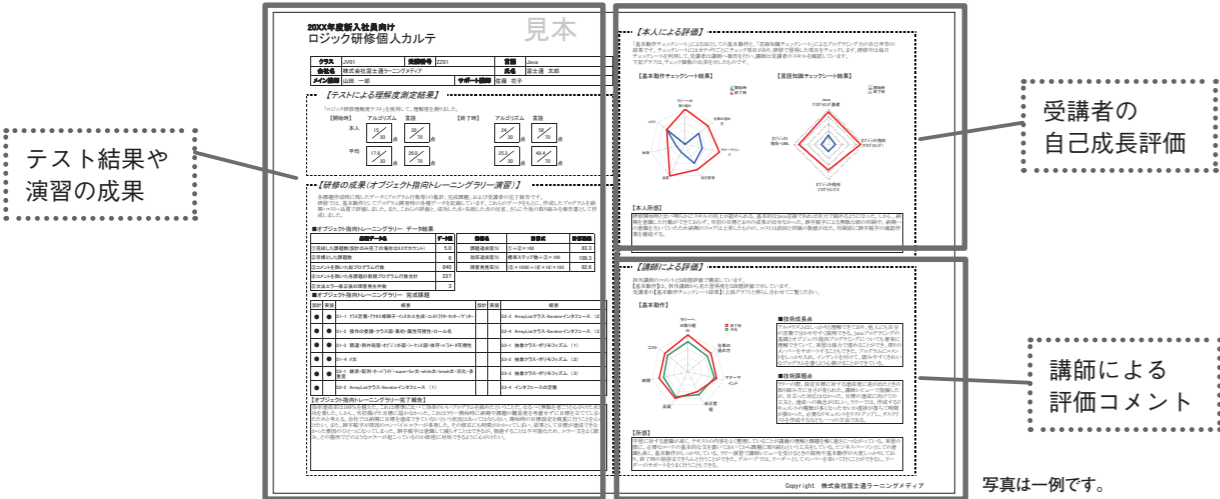
<Webシステムの主な機能>

- ・タイムカード
- ・日報（育成ご担当者様からのコメントを入力できます。）
- ・理解度テスト点数（テストを実施しないコースもあります。）
- ・受講報告書（コースごとに提出します。）

【個人カルテ】 ◆ 受講成果の評価「個人カルテ」を発行

研修の開始時、終了時に実施する理解度テストやスキル測定の結果、また、受講者一人ひとりに対する、講師による基本動作の評価や技術的な成長点・課題点、所感などのコメントを受講の成果としてまとめた「個人カルテ」を発行します。配属時の育成方針の検討などにご活用ください。

※個人カルテの発行条件は各コースの概要ページをご確認ください。



写真は一例です。

「配属前」に最適！「情報セキュリティリテラシー」コースを新設しました！ NEW

経営課題として依然取り上げられることの多い「情報セキュリティ」。新入社員への教育に課題はございませんか？

配属前のセキュリティ意識向上に最適

新入社員研修受講後、配属される前に「情報セキュリティ」についての意識向上を図ります。「情報セキュリティ」についての原理原則を学習することで、「社内情報セキュリティ規定を納得して守る」、「開発業務におけるセキュリティ品質への意識を向上する」ことができます。自社で行う情報セキュリティ教育の前段階として、最適です。  
「なぜ情報セキュリティは必要なのか?」、「なぜ会社の情報を守らないといけないのか?」といった「情報セキュリティ」の原理原則を、身近な話題（スマホやSNSなど）を題材にして考え学びます。

モデル受講例



受講にあたり、技術的な前提知識は不要です。そのため、ビジネススキル研修の修了直後でも受講可能です。

コースの特長

配属後の社内情報セキュリティ規定啓発の円滑化を実現

開発業務におけるセキュリティ品質への意識向上を実現

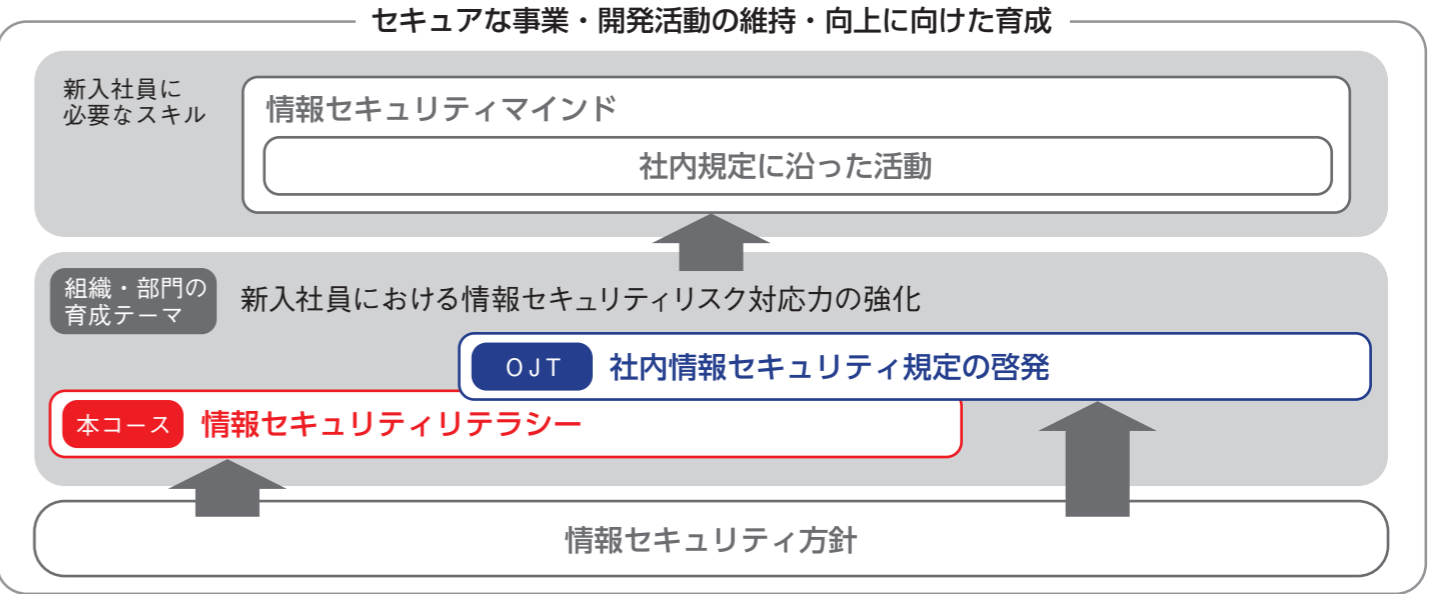
情報セキュリティの概念について、ディスカッションを中心とした演習で理解し知識を深めます。さらに、日常業務において安全に情報を取り扱うことの必要性を実感してもらうために、一般的リスクと配慮すべき点をまとめた冊子「日常業務における情報セキュリティ対策のしおり」(右図)を配布します。



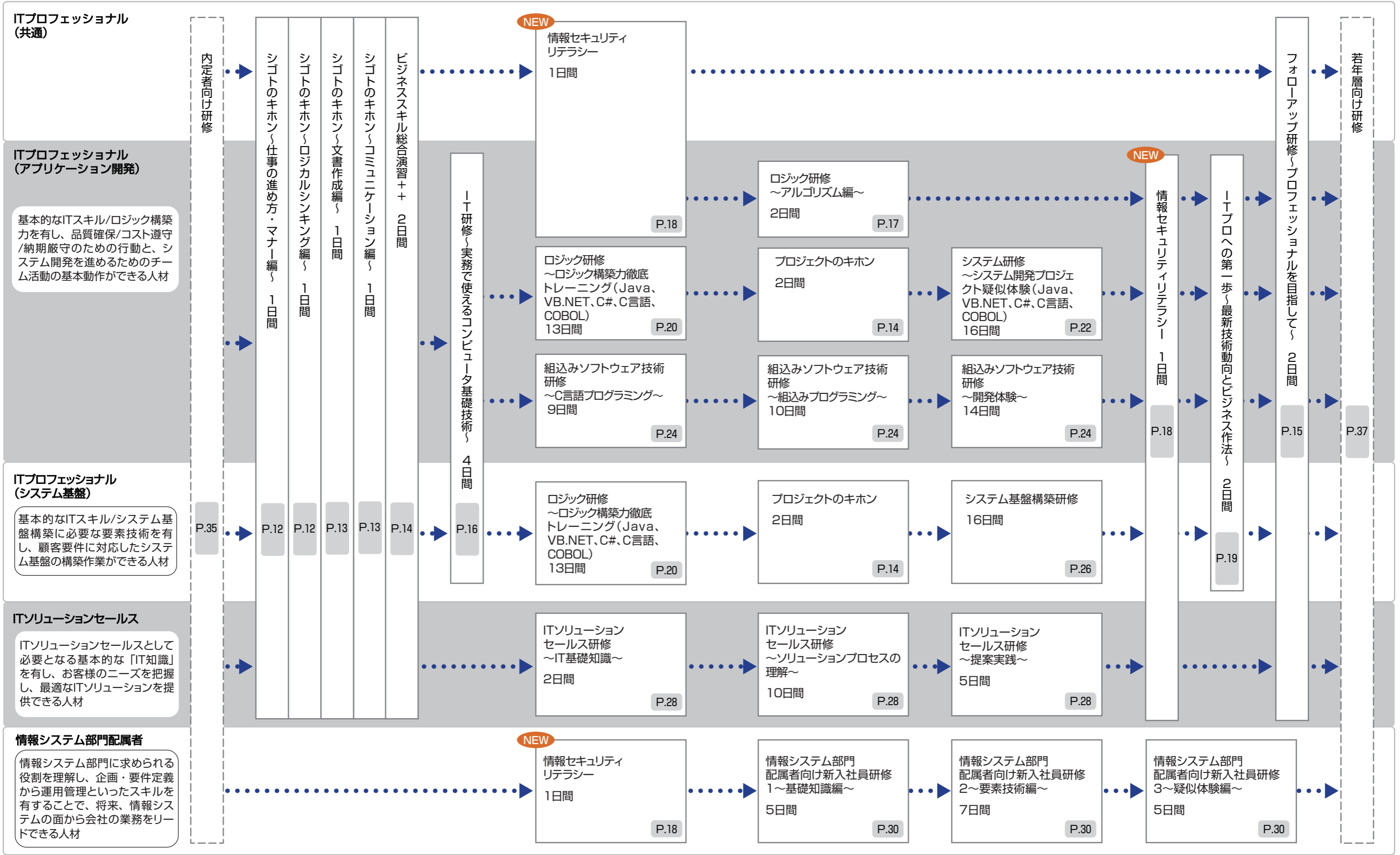
- <主な掲載内容>
- ☐ 事務所での情報取り扱い
  - ☐ 社外への情報持ち出し
  - ☐ パソコン・ファイルの持ち込み
  - ☐ 情報資産の廃棄
  - ☐ ウェブサイト閲覧
  - ☐ パソコン利用
  - ☐ 情報モラル・マナー
  - ☐ 個人情報取り扱い
- など

◆本コースとOJTとの位置付け(イメージ図)

本コースで情報セキュリティを遵守するマインドの土壌を作り、OJTにおける教育内容をスムーズに浸透させます。お客様の情報の安全・安心への意識を高め、セキュアな事業や開発活動を実現して企業価値の向上につなげます。



目指すべき人材像とそれに応じた育成プランをご用意しております。また、知識・スキルを自然な流れで積み上げて定着させるための仕掛けを各コースに組み込んでいます。



※ご要望に応じて各コースをカスタマイズし、「お客様別個別開催研修」としてのご提供も可能です。お気軽にご相談ください。 P.41

《ビジネススキル、ITプロフェッショナル(共通)》

[illegible]

《ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)》

[illegible]

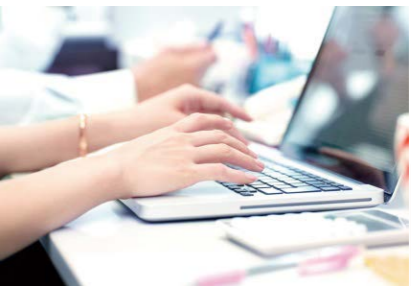
※ 大阪会場の日程はWebでご確認ください。

[illegible]

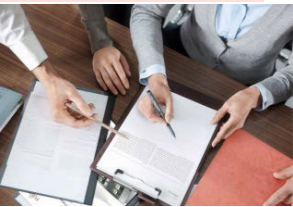
## 《ITプロフェッショナル(システム基盤構築)》

[illegible][illegible]

## 《ITソリューションセールス》

[illegible]

## 《情報システム部門配属者向け》

[illegible]

## 《フォローアップ研修》

[illegible]

## 2019年度 秋の新入社員研修開催スケジュール

秋採用、通年採用で入社した新入社員、配置転換でITスキルが必要となる方に最適なコースです。

[illegible]

紙教材	コースコード	NAI21L	価格(税別)	30,000円	期間	1日間
開催日程	東京・大阪・名古屋：4/3 九州：4/8	前提知識	特に必要ありません。			
概要	PLAN・DO・CHECK・ACT、QCD(品質・コスト・納期)、報告・連絡・相談を中心に、正確な仕事と作業の進め方を学習します。また、業務に不可欠な基本動作(あいさつ、電話応対、名刺交換など)をロールプレイや演習を通じて実践します。					
目標	1.仕事の基本とマナーの必要性を説明できる。 2.仕事のプロセスを理解し、自ら実践できる。 3.あいさつ、電話応対、名刺交換などのマナーを実践できる。					
スケジュール	<b>講義 仕事のプロセスと進め方</b> <div> <div> <b>仕事を受ける</b>            ▶メモを取りながら聞く            ▶5W4Hで確認する            ▶質問する         </div> <div> <b>仕事を進める</b>            ▶目的を理解する            ▶作業管理する            ▶進捗管理する            QCDを常に意識         </div> <div> <b>仕事を終える</b>            ▶仕事を振り返る            ▶仕事を報告する         </div> </div>					
◆仕事とは	[演習]ビジネスパーソンとして働く ー会社で働く ー仕事とは ーQCD、PDCA、報連相					
◆仕事のプロセスと進め方	ー仕事のプロセスを実行する [演習]メモを取る [演習]仕事を進める					
◆ビジネスマナーを身につける	ー第一印象・あいさつ ービジネスにふさわしい言葉づかい [演習]敬語・慣用表現を身につける ー電話応対のマナー [演習]電話応対する ーお客様訪問のマナー [演習]名刺交換する					
◆理解度テスト						
比率 (講義：演習)	5：5					

紙教材	コースコード	NAI22L	価格(税別)	30,000円	期間	1日間
開催日程	東京・名古屋：4/4、10/3 大阪：4/4 九州：4/9	前提知識	特に必要ありません。			
概要	情報を整理し筋道を立てて考えるためのロジカルシンキングの基本を学習します。基本的な考え方とツール(ロジックツリー、ピラミッドストラクチャー、マトリックス)を理解し、仕事へ活用できるスキルを身につけます。					
目標	1.ロジカルシンキングの基本的考え方を説明できる。 2.ロジカルシンキングのツールを使用できる。 3.ロジカルシンキングが仕事のどのような場面で活用できるか理解できる。					
スケジュール	<b>講義&amp;演習 基本となる考え方</b> <div> <div> <b>筋道を立てて考える</b>            自分が理解できるように整理            相手が理解できるように整理         </div> <div> <b>結論</b> ▶結論は？            根拠 根拠 根拠         </div> <div> <b>テーマ</b> ▶具体化・詳細化すると？            構成要素 構成要素 構成要素         </div> </div>					
◆ロジカルシンキングとは	[演習]結論を相手に伝える [演習]モレなく、ダブリなく分類する					
◆ロジカルシンキングの基本となる考え方	[演習]結論と根拠との因果関係を明確にする					
◆ロジカルシンキングのツール	ーロジックツリーとは [演習]網羅的に深く考える ーピラミッドストラクチャーとは [演習]結論と根拠との因果関係を明確にする ーマトリックスとは [演習]学んだことを活用する					
◆仕事で活用するには	[演習]学んだことを活用する					
◆理解度テスト						
比率 (講義：演習)	4：6					

紙教材	コースコード	NAI23L	価格(税別)	30,000円	期間	1日間
開催日程	東京・名古屋：4/5、10/4 大阪：4/5 九州：4/10	前提知識	特に必要ありません。			
概要	相手に伝わる分かりやすい文書作成方法を学習します。ビジネスシーンを想定したe-mail・報告書・議事録の作成演習を通じて、学習内容の定着を図ります。					
目標	1.相手に伝わる分かりやすい文書を作成できる。 2.基本的なビジネス文書(e-mail、報告書、議事録)を作成できる。					
スケジュール	<b>講義&amp;ミニ演習</b> 1.文書作成プロセス 2.文書の作成ポイント 正確に伝える 正確な言葉 正確な表現 分かりやすく伝える 短文化 箇条書き 関係性具体性 ビジュアル化					
◆ビジネスシーンで求められる文書	◆文書作成のプロセス ー正確に伝える ー分かりやすく伝える ◆代表的なビジネス文書の作成 ーe-mailを作成する [演習]e-mail作成 ー報告書を作成する [演習]報告書作成 ー議事録を作成する [演習]議事録作成(動画視聴)					
◆理解度テスト						
比率 (講義：演習)	4：6					

紙教材	コースコード	NAI24L	価格(税別)	30,000円	期間	1日間
開催日程	東京・名古屋：4/8、10/7 大阪：4/8 九州：4/11	前提知識	特に必要ありません。			
概要	ビジネスでは、目的をきちんと把握した上で、相手を理解し伝えるコミュニケーションが求められます。コミュニケーションを「理解する」と「伝える」の要素に分けて学習します。					
目標	1.相手を理解するために聴くことができる。 2.相手に伝えるためにシナリオを整理できる。 3.相手に分かりやすく伝える方法を実践できる。					
スケジュール	<b>講義</b> 目的を理解する 計画・互いの立場や違いを理解する 実行 確認 改善 聴き手 相手の理解するスキル～理解の反応を示す～ 話し手 相手に伝えるスキル～分かりやすく伝える～ シナリオ 表現 伝達					
◆ビジネスシーンで求められるコミュニケーション	◆相手を理解する ー聴く ー質問する [演習]相手を理解する ◆相手に伝える ー情報を洗い出す ーシナリオを作成する ープレゼンスを意識して伝える [演習]仕事の状況を上司に伝える ープレゼンテーション [演習]お客様にプレゼンテーションする(他者リハーサル) [総合演習]お客様への案内と質疑応答を行う					
◆理解度テスト						
比率 (講義：演習)	4：6					

ビジネススキル総合演習++				
紙教材	コースコード	NAI29L	価格(税別)	60,000円
開催日程	東京・大阪・名古屋：4/9～4/10	前提知識	「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース(NAI21L～NAI24L)を修了している人。または同等の知識がある人。	
概要	<p>緊張感のあるビジネスの現場を再現した総合演習で、仕事を疑似体験します。ここまでに学習したビジネススキルを総合的に活用し、自主的に行動し、自分の枠を超え、仕事をやりきる体験を通じ達成感を得ます。さらに失敗を通じて「知っていること」と「できること」の違いを体感し、社会人としてさらなる向上の必要性を認識します。また、成長のためのフィードバックとは何かを理解し、演習での相互フィードバックにより今後切磋琢磨していく関係性とお互いに成長していくという仲間意識を醸成します。</p>			
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>自分のビジネススキルの課題を把握し、今後の改善ポイントを整理する。</li> <li>自分の行動特性を理解し、今後主体的に思考、行動するためのアクションプランを作成する。</li> <li>相手の成長を願い、必要と思われるフィードバックを実施する。</li> </ol>			
スケジュール	<p><b>【1日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆オリエンテーション                     <ul style="list-style-type: none"> <li>社会人としてのビジネススキル発揮</li> <li>自己の目的、目標</li> </ul> </li> <li>◆ビジネス総合演習(演習)</li> <li>◆成長を促すフィードバックについて</li> </ul> <p><b>【2日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ビジネス総合演習(演習)のつづき</li> <li>◆振り返り                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネススキルの振り返り</li> <li>主体性発揮の状況、目標の振り返り</li> <li>アクションプランシートの作成</li> </ul> </li> </ul>			
比率(講義：演習)	3：7			

ゲームフィケーションを取り入れた演習

フィードバックで絆を構築

新入社員のためのプロジェクトのキホン				
紙教材	コースコード	NAI28L	価格(税別)	60,000円
開催日程	東京：5/14～5/15、6/6～6/7 大阪・名古屋：5/14～5/15	前提知識	「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース(NAI21L～NAI24L)および「ビジネススキル総合演習++」(NAI29L)を修了している人。または同等の知識がある人。	
概要	<p>モノ作りをとおして、プロジェクトを円滑に進めるために必要な要素(品質、コスト、納期、チームワーク)について学習します。また、ビジネスにおけるステークホルダーを意識し、お客様起点で物事をとらえることの重要性を学習します。</p>			
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト活動の流れを説明できる。</li> <li>プロジェクト活動に必要な仕事の進め方を理解する。</li> <li>プロジェクト活動に必要なチームワークを身につける。</li> <li>お客様起点の重要性を説明できる。</li> </ol>			
スケジュール	<p><b>【1日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆プロジェクトとは</li> <li>◆プロジェクトメンバーとしての心得</li> <li>◆お客様起点とは</li> <li>◆プロジェクト演習                     <ul style="list-style-type: none"> <li>キックオフ、目標設定</li> <li>プロジェクト計画策定</li> <li>上司レビュー</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【2日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆プロジェクト演習のつづき                     <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客要望確認</li> <li>ヒアリング</li> <li>設計図作成</li> <li>模型作成</li> <li>納品</li> <li>提案コンペ(プレゼン)</li> </ul> </li> <li>◆振り返り</li> <li>◆理解度テスト</li> </ul>			
比率(講義：演習)	3：7			

プロジェクトの立ち上げ

- ▶プロジェクト目標設定
- ▶チーム編成

計画

- ▶プロジェクトの計画(スケジュール、予算)
- ▶顧客要望の確認

実行・コントロール

- ▶設計図、模型、提案書の作成
- ▶上司レビュー
- ▶顧客レビュー

終結

- ▶納品
- ▶プレゼンテーション
- ▶プロジェクトの評価

**プロジェクト活動のプロセスごとに、個人およびチームで振り返りを行い、PDCAを実践する力、マインドを醸成します。**

**主な成果物**

新入社員のためのフォローアップ研修				
紙教材	コースコード	NFU04L	価格(税別)	60,000円
開催日程	東京：11/14～11/15、12/9～12/10 大阪：12/5～12/6 名古屋：11/7～11/8	前提知識	「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース(NAI21L～NAI24L)、「ビジネススキル総合演習++」(NAI29L)および「新入社員のためのITプロへの第一歩～最新技術動向とビジネス作法～」(NB117LまたはNB118L)を修了している人。または同等の知識がある人。	
概要	<p>配属後の仕事の進め方や周囲とのコミュニケーションを振り返り、ビジネスパーソンとしての姿勢と行動を確認します。演習やロールプレイをとおして、自分自身が成長し続けるためには何が必要なのかを学び考えます。その上で、今後のプロフェッショナルを目指すための具体的なアクションプランを立案します。</p>			
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>配属後の現状を振り返り、ビジネスパーソンとしてあるべき姿や行動を考える。</li> <li>プロフェッショナルとして求められる行動を学び、自分に必要なものを認識する。</li> <li>プロフェッショナルを目指すための具体的なアクションプランを立案する。</li> </ol>			
比率(講義：実習：演習)	3：7			
スケジュール	<p><b>【1日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆プロフェッショナルに必要なもの                     <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの振り返り</li> <li>求められるビジネスパーソンを考える</li> </ul> </li> <li>◆ロールプレイ                     <ul style="list-style-type: none"> <li>新商品説明会の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>作業の洗い出し</li> <li>開催準備</li> <li>資料作成</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>【2日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ロールプレイのつづき)</li> <li>◆プロフェッショナルとしての行動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に仕事に取り組む</li> <li>主体的に仕事をするためのポイント</li> </ul> </li> <li>◆プロフェッショナルを目指して                     <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の見直し、ステークホルダー</li> <li>身につけておくべきこと</li> <li>仕事のPDCA</li> <li>成長に必要な3つの要素</li> </ul> </li> <li>◆アクションプランの作成</li> </ul>			

**ここがポイント!**

配属後に明らかになった課題を踏まえ、解決に向けての意識・知識・行動の改善・発展のヒントを見出します。仕事の先を見据えて必要な作業を考えて行動し、仕事を推進する力を身につけます。

**1. あるべき姿や行動を考える**

**P**

[演習] 入社してからこれまでの行動の振り返り

[演習] 求められるビジネスパーソン

[演習] 主体的に仕事に取り組む

**3. 行動のポイントを確認する**

**C**

[講義&演習] 仕事を進める行動様式

- ステークホルダーとの関わり方
- 仕事の段取り/作業の洗い出し
- 期間設定/優先順位のつけ方
- コミュニケーション/報告・連絡・相談

**2. 求められる行動を実践する**

**P**

[ロールプレイ]

**4. プロフェッショナルの仕事に必要なものを洗い出す**

**A**

[演習] 「アクションプラン」の作成

[演習] 「作業計画書」の作成

[決意表明] 行動宣言

①アクションプラン

②作業計画書

**ここがポイント!**

会社の基本理念をもとに、「アクションプラン」と「作業計画書」を作成します。目標と仕事の段取りの明確化ができます。

**自分で考え行動する力**

設定：課長から新商品説明会の開催準備を任される  
仕事の全体像をイメージし、資料作成や確認など仕事の段取りを考えます。段取りが明確になったら、先へ進める工夫を盛り込んでいきます。

現場での具体的な行動につなげる

コースのねらい

広く使われているWeb3階層システムを題材に、コンピュータの原理原則を体系的に学びます。自発的に学ぶ姿勢を引き出すための仕組みとして、業務で起こりうる状況設定に基づいた自己調査ワークやディスカッション、受講者自らによる重要ポイント講義など、アウトプットの機会を多く設け、知識を着実に定着させます。

電子教材	コースコード	NBIO4L	紙教材	コースコード	NBI13L	期間	4日間
	価格(税別)	94,000円		価格(税別)	99,000円		
開催日程		東京：4/11～4/16、5/14～5/17、6/4～6/7、10/9～10/15 名古屋：4/11～4/16、5/14～5/17、10/9～10/15 大阪：4/11～4/16 九州：4/15～4/18					
前提知識		特に必要ありません。					
概要		これからITシステムに関わる新入社員にとって、システムの構成要素や原理原則の正しい理解は必要不可欠です。本コースでは、システムで利用されている各種技術（ハードウェア、OS、データベース、ネットワーク）の仕組みや役割を学習します。また、学習した内容を活用して、世の中で利用されているさまざまなシステムの構成を考察し、システム全体の構成をイメージすることで、知識の定着を図ります。					
目標		1.ITシステムにおけるシステム構成やシステムライフサイクル(企画、要件定義、設計、開発、テスト、運用、廃棄)、システム開発手法について説明できる。 2.ハードウェアの構成要素(中央処理装置、主記憶装置、補助記憶装置など)と役割について説明できる。 3.OSの役割や内部の仕組み(プロセス管理、メモリ管理、入出力管理など)について説明できる。 4.データベース技術の概要とDBMSの役割を理解し、効率的なデータ検索・更新のために必要な事項について説明できる。 5.ネットワーク技術の概要を理解し、コンピュータ同士の通信を実現するための機器や仕様について説明できる。				比率 (講義・実習・演習)	6：4
スケジュール		【1日目】 ◆事前理解度テスト ◆ITシステムの概要 ◆ハードウェア・ソフトウェア		【2日目】 ◆オペレーティングシステム		【3日目】 ◆データベース ◆ネットワーク	
				【4日目】 ◆ITシステムの構成要素・ライフサイクル ◆事後理解度テスト			

ITシステムに必要な技術を網羅的に学習し、社会で利用されている様々なシステムの構成要素や原理原則を理解する。

ここがポイント!

データベースの章では、SQLを実行してテーブル操作を体験します。

ここがポイント!

ハードウェアの章では、各装置を日常生活のモノに例えて説明する演習を行い、各装置の役割の理解を深めます。

ここがポイント!

ネットワークの章では、物理結線、TCP/IPの設定、疎通確認などネットワークの構築を体験します。

ここがポイント!

ソフトウェア(2章)アプリケーションデータベース(4章)OS(3章)ハードウェア(2章)

ここがポイント!

システム構成(6章)WebサーバAPサーバDBサーバネットワーク(5章)

ここがポイント!

192.168.1.100 255.255.255.0 192.168.1.200 255.255.255.0 IPCONFIG? PING?

コースのねらい

プログラミングに必要な論理的思考力を身につけ、基礎となるアルゴリズムを学びます。考えたアルゴリズムをフローチャートとして作成できる実践力を身につけます。作成中でのレビューや、フローチャートをトレースすることの重要性も理解します。

電子教材	コースコード	NBIO2L	紙教材	コースコード	NBI14L	期間	2日間
	価格(税別)	47,000円		価格(税別)	52,000円		
開催日程		東京：4/18～4/19 名古屋：4/18～4/19、10/17～10/18					
前提知識		特に必要ありません。					
概要		基本アルゴリズムを講義と演習をとおして学習します。標準的なアルゴリズムのパターンを理解し、フローチャート作成やトレースの演習によって、応用問題を自分で解き、適確に論理展開できる力を習得します。					
目標		1.プログラミングに必要な論理的思考力を身につける。 2.基本的なアルゴリズム(集計・探索・整列など)を理解できる。 3.誰にでもわかりやすいフローチャートを作成できる。				比率 (講義・実習・演習)	5：5
スケジュール		【1日目】 ◆事前理解度テスト ◆アルゴリズムの基本(領域・JISフローチャート、加算、交換、判断、繰り返し、配列) ◆集計 ◆探索(サーチ)		【2日目】 ◆整列(ソート) ◆マッチング ◆グループータル(コントロールブレイク) ◆文字列操作 ◆事後理解度テスト			

ここがポイント! 初めてアルゴリズムを学習する新入社員でも理解しやすいように、やさしい問題から高度な問題へと流れに沿って内容が進みます。繰り返し学習できるように、豊富な演習問題を用意しています。

1.目的を把握し、完成した状態を考える

プログラム仕様書

商品個数

開始

商品個数を倉庫Aと倉庫Bに入力

合計を計算

倉庫Cの商品個数を表示

終了

倉庫A

倉庫B

倉庫C

2.領域図を書く

倉庫A

倉庫B

倉庫C

3.フローチャートを書く

開始

1 商品個数を倉庫Aに入力

2 商品個数を倉庫Bに入力

3 倉庫A+倉庫B→倉庫C

4 倉庫Cを表示

終了

4.レビューをする(トレース)

倉庫A 倉庫B 倉庫C

1 200 150

2 200 150

3 350 150 350

4 200 150 350

コースの  
ねらい

1. 業務情報を取り扱う際のリスクの回避
2. 社内情報セキュリティ規定の必要性の理解
3. 情報セキュリティ品質の提供における意識向上

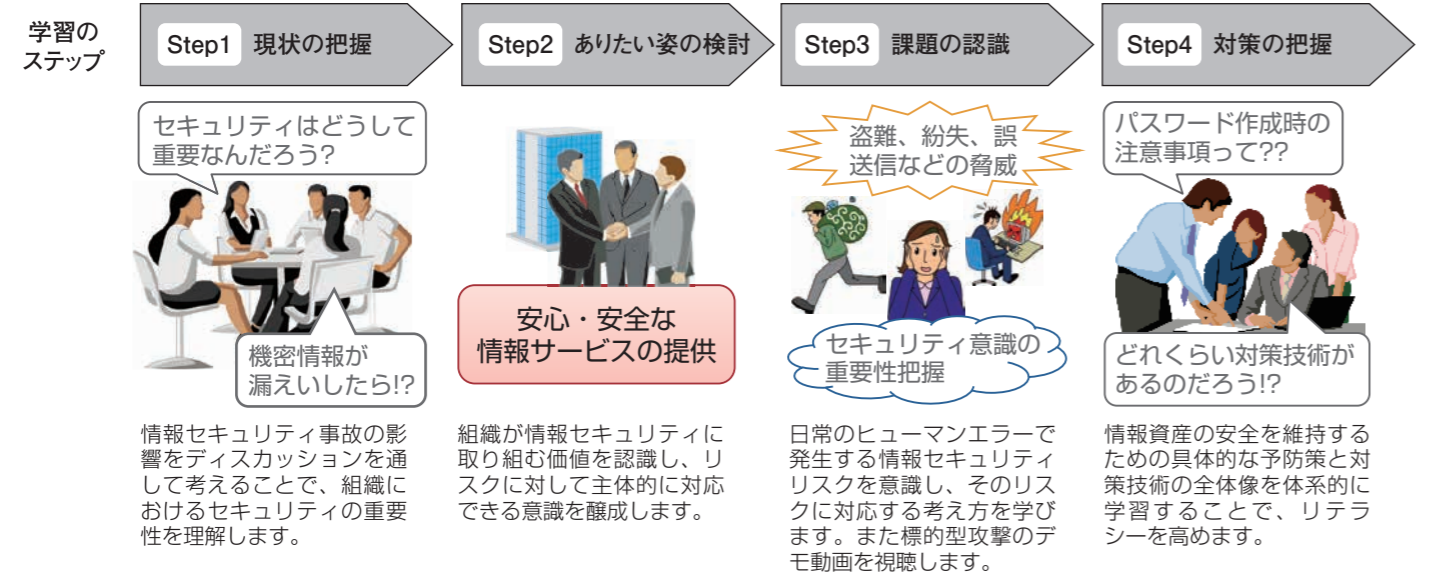
ビジネスで信頼されるための情報セキュリティリテラシーが業界で非常に重要となっています。身近な情報や組織の情報の影響について考えながら、配属後のヒューマンエラーの予防方法や、サービス提供時に必要なセキュリティ品質の意識を身につけます。

電子教材	コースコード	NSA01L	紙教材	コースコード	NSA02L	期間	1日間	
	価格(税別)	30,000円		価格(税別)	32,000円			
開催日程		東京：4/11、4/17、5/14、5/16、6/7、6/10、7/2、7/19、10/8 大阪：4/17、6/7 名古屋：4/17、5/16、6/7、7/2、10/8 九州：4/19						
前提知識		特に必要ありません。						
概要		信頼される安全な情報管理やサービス提供の実現に向けて必要となる情報セキュリティ分野の基本知識について、組織の一員としてのリスクをベースにしながら体系的に講義と演習を通じて学習します。						
目標		1.個人から組織までの情報セキュリティを取り巻くリスクの現状を確認し、対策の必要性および重要性を理解する。 2.日常業務で一般的に必要な情報セキュリティ対策に体系的に取り組む上で基本となる、用語の定義やその対策の進め方について把握する。 3.組織の情報セキュリティ製品・サービス群の全体像と分類構成を認識する。				比率 (講義:実習:演習)		5：5
スケジュール		<div>◆情報セキュリティの重要性を理解する ー 情報セキュリティの必要性と現状 [演習]自分自身の情報セキュリティリスクを考える [演習]企業・組織の情報セキュリティリスクを考える ー サイバー攻撃時代と今後の社会 ー 組織における情報セキュリティの仕組み ー 情報セキュリティの実現に向けた活動 [演習]普段の情報セキュリティ活動を振り返る ◆これからの立場と情報セキュリティの関係を考える ー お客様とのつながりと立場 ー ヒューマンエラーによる情報セキュリティ事故 [演習]普段の生活で見直すべき行動を振り返ろう！</div> <div>・ ・</div>						

ここがポイント！

- ① なぜ会社の情報を守らなければならないかについて、個人から組織の視点に移して情報セキュリティの大切さを理解します。
- ② 誤った判断による情報セキュリティインシデントを未然に防ぐため、ビジネスパーソンとして情報を安全に取り扱う力を身につけます。
- ③ 今後お客様に提供するシステムに求められる安全性の確保について、情報セキュリティリスクや品質の考え方、業界動向などをベースに主体性を持って取り組む意思を醸成します。

■研修全体像



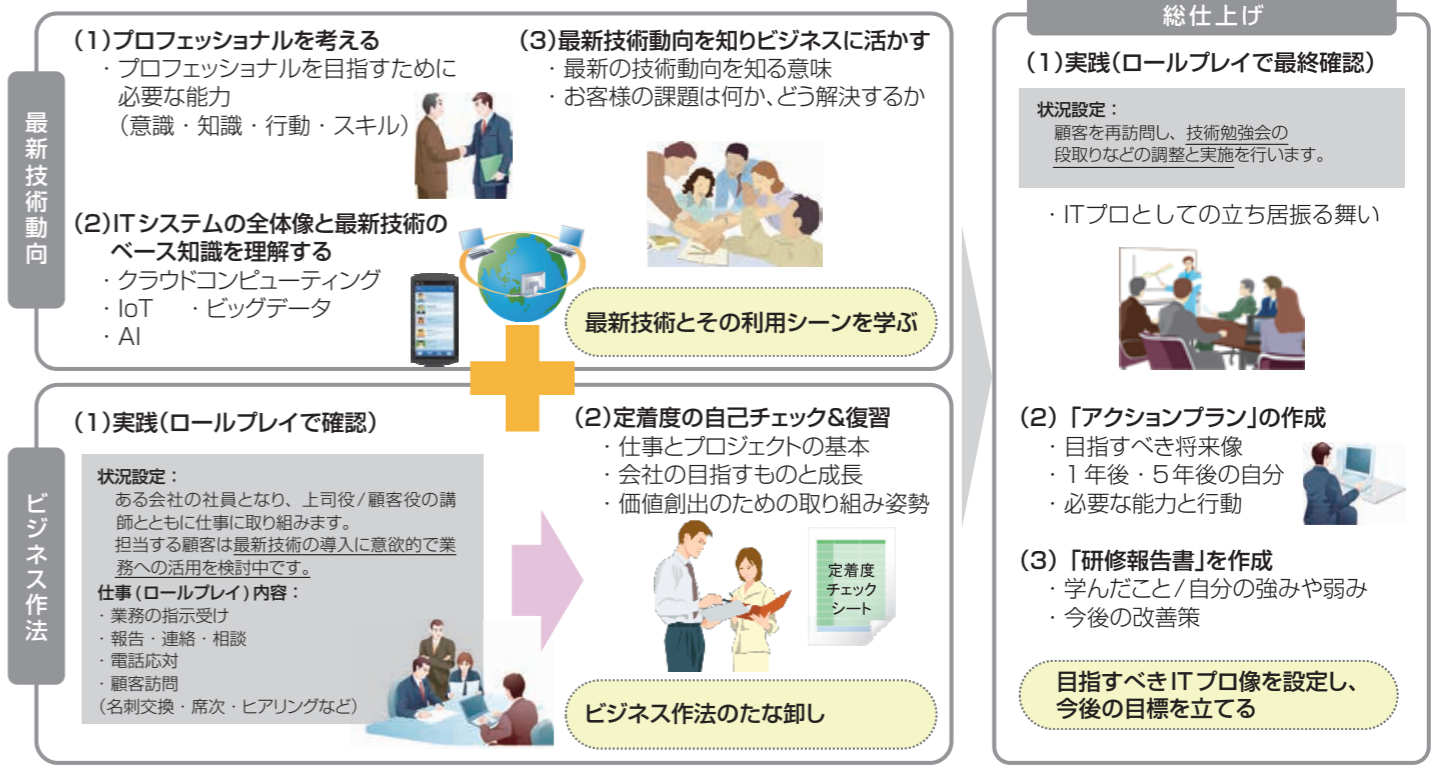
コースの  
ねらい

配属を目前にした総仕上げとして、業界動向に目を向ける重要性和、その情報収集の方法を学び、また、ビジネススキルの定着状態を評価し、振り返ります。さらに、IT業界のプロフェッショナル(ITプロ)として仕事を続けるために備えるべき心得や振る舞いを再認識します。自身の理想の成長像を描いて行動宣言し、さらなる成長意欲に着火します。

電子教材	コースコード	NBI17L	紙教材	コースコード	NBI18L	期間	2日間
	価格(税別)	60,000円		価格(税別)	65,000円		
開催日程		東京：6/10～6/11、7/3～7/4 大阪・名古屋：6/10～6/11					
前提知識		「新入社員のためのシゴトのキホン」シリーズの4コース(NAI21L～NAI24L)、「ビジネススキル総合演習++」(NAI29L)および「新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～」(NBI04LまたはNBI13L)を修了している人、または同等の知識がある人。					
概要		IT業界のプロフェッショナルとして必要なICT関連の最新技術動向に目を向ける重要性を学び、調べ方の基本を学習します。また、現場業務に臨むにあたって、実践的なロールプレイを用いてビジネススキルの定着度合いを確認します。仕事を行う上で、個人、さらに組織の一員として必要なものは何かを考え、プロフェッショナルを目指すために必要なアクションを検討します。					
目標		1. ICT関連の技術動向やキーワードを知ることの重要性を理解できる。 2. ICT関連の技術動向やキーワードを調べられる。 3. 仕事の進め方・マナーが実践できる。 4. 分かりやすいビジネス文書が作成できる。 5. ビジネスシーンで求められるコミュニケーションを実践できる。				比率 (講義・実習・演習)	3：7
スケジュール		【1日目】 ◆実践的ロールプレイ 最新技術導入に意欲的な顧客の対応 ー電話応対、顧客訪問 ー名刺交換、ヒアリング ◆ビジネスパーソンとなった自分を振り返る ◆ビジネスパーソンとして求められるもの		◆プロフェッショナルとは何か ◆ITシステムの全体像と技術動向 ークラウドコンピューティング ービッグデータ ーIoT ーAI		【2日目】 ◆実践的ロールプレイ 再訪問と技術勉強会の実施 ◆プロフェッショナルへの一歩 ープロフェッショナルとしての学びのスタイル ープロフェッショナルを目指すために ◆アクションプランの作成	

ここがポイント！

「プロフェッショナルとして成長し続けることを決意する」新社員研修の最終フェーズです。研修期間中に培った意識・知識・行動・スキルについて、実践に近いロールプレイと自己・他者評価で習熟度を測ります。「プロフェッショナルとして成長し続ける人材の核」となる能力を意識し、研修終了時点の自分の状態を把握して、成長過程、将来像を描き、アクションプランとして自分の言葉で表現します。



[ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)]

# 新入社員のためのロジック研修～ロジック構築力徹底トレーニング

コースの  
ねらい

1. 基本アルゴリズムの習得

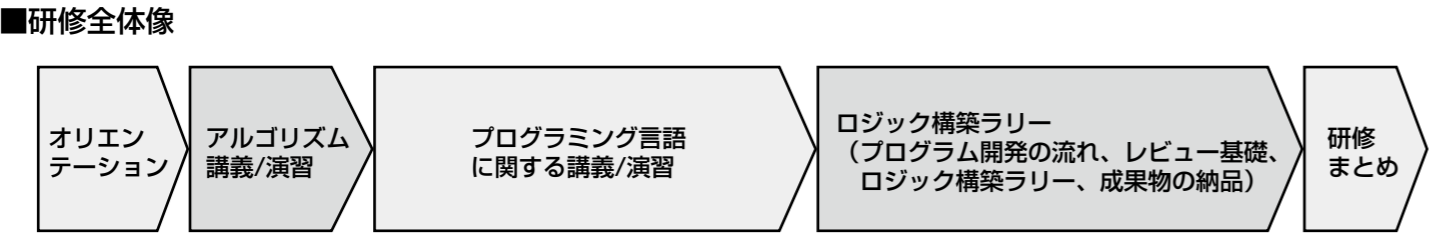
2. 言語スキル定着・向上

研修開始時の測定により新入社員のスキルレベルを明確にし、一人ひとりのレベルに合わせた課題作成、指導・アドバイスを行います。  
ロジック構築ラリー®では、課題作成とレビューの反復によりSEに必要な基本技術と基本動作を徹底的に習得します。

- ここがポイント!
- ① プログラミング言語は、Java、VB.NET、C#、C言語、COBOLの5つの言語を用意しています。

② アルゴリズム、プログラミング言語の学習の後、ロジック構築ラリー®を行います。

③ 新入社員一人ひとりのレベルに応じた確実なスキルアップが図れます。



ロジック構築ラリー®(課題作成+レビュー)

個人のスキルレベルに合わせて次々に課題を解いていきます。プログラム開発の流れを疑似体験しながら学ぶことで、プログラミング技術を「理解した」レベルにとどまらず、強化向上させることができます。繰り返し課題を解くことにより技術力を強化するとともに、報・連・相などの基本動作を習得できます。

レベルに応じた課題作成  
自己レビュー

グループ内対面レビュー

講師レビュー

設計

自己レビュー

グループ内対面レビュー

講師との対面レビュー

プログラミング・テスト

自己レビュー

講師との対面レビュー

次の課題へ

ここがポイント!

講師は、作成した課題について新入社員一人ひとりと対面レビューを行い、個人のレベルに合わせた適切な指導・アドバイスを行います。また日々の進捗報告(予定/実績、スケジュール遅延の原因・対策など)を聞き、社会人として必要な基本動作を指導します。

プログラミング言語の知識だけを学ぶのではなく、マナーマインドやQCDを守ることの重要性、チームで課題を達成する楽しさなど、さまざまな面で社会人として成長できる要素が組み込まれていたのが大変勉強になりました。

新入社員の声

講義によってわからなかったことがわかるようになり、技術向上ができた実感しています。また、その理解をもとに演習やラリーを行うことで、さらに理解が深まり、楽しく演習をすることができました。

アルゴリズムの学習で下地を身につけたことが、プログラミング知識定着の大きな助けとなりました。後半の総合演習・ラリーでは、それまでに学習したことへの抜けを発見することで、自分の弱みを知ることができました。

新入社員のためのロジック研修(Java、VB.NET、C#、C言語、COBOL)～ロジック構築力徹底トレーニング

スピーチ

ビジュレ

KPT

テスト

レビュー

電子教材

日報

発表会

カルテ

言語	Java	VB.NET	C#	C言語	COBOL	
電子教材	コースコード	NUL50L	NUL52L	NUL58L	NUL54L	NUL56L
	価格(税別)	299,000円				
紙教材	コースコード	NUL51L	NUL53L	NUL59L	NUL55L	NUL57L
	価格(税別)	314,000円				
期間	13日間					
開催日程	東京:4/17～5/13(Java、C#、C言語、COBOL)、5/20～6/5(Java)、10/16-11/5(Java) 大阪:4/17～5/13(Java、VB.NET) 名古屋:4/17～5/13(Java、VB.NET、C言語)、5/20～6/5(Java)					
前提知識	「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース(NAI21L～NAI24L)および「ビジネススキル総合演習++」(NAI29L)を修了している人。または同等の知識がある人。					
概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。					
目標	<div>1.基本的なアルゴリズムを作成できる。</div> <div>2.基本文法を理解し、実装できる。</div> <div>3.オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。</div> <div>4.UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。</div> <div>5.プログラム開発の手順を実践できる。</div> <div>1.基本的なアルゴリズムを作成できる。</div> <div>2.基本文法を理解し、実装できる。</div> <div>3.フローチャートからプログラムを実装できる。</div> <div>4.(COBOL)コントロールブレイク処理、表操作、マッチング処理を理解し、実装できる。(C言語)関数、ポインタ、構造体を理解し、実装できる。</div> <div>5.プログラム開発の手順を実践できる。</div>					
スケジュール	<div>比率(講義:実習・演習)</div> <div>3:7</div>					

※スケジュールは目安です。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

【1日目】

◆オリエンテーション

◆開始時のスキルレベル測定

ー事前理解度テスト

ースキル項目チェック

【2～3日目】

◆アルゴリズム講義/演習

【4～8日目(Java、VB.NET、C#)、4～7日目(C言語、COBOL)】

◆プログラミング言語に関する講義/演習: 言語特性に応じた教材を使用した講義と、実機を使用した演習

【9～12日目(Java、VB.NET、C#)、8～12日目(C言語、COBOL)】

◆プログラム開発の流れ: プログラム開発の手順(仕様理解、プログラム構造設計、プログラミング、テスト、レビュー)の学習

◆レビュー基礎: 動画を使ってレビューについて学習

◆目標設定

◆ロジック構築ラリー®(課題作成+レビュー)

◆成果物の納品

【13日目】

◆終了時のスキルレベル測定

ー事後理解度テスト

ースキル項目チェック

◆ロジック研修まとめ: 「完了報告書」を記入

◆ロジック研修振り返り会

※「ロジック研修振り返り会」は育成ご担当者様も見学いただけます。詳細は別途お知らせいたします。

【ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)】  
新入社員のためのシステム研修～システム開発プロジェクト疑似体験

コースの  
ねらい

1. システム開発の全体像の理解

2. プロジェクト活動における  
SE基本動作の習得

3. QCDの遵守

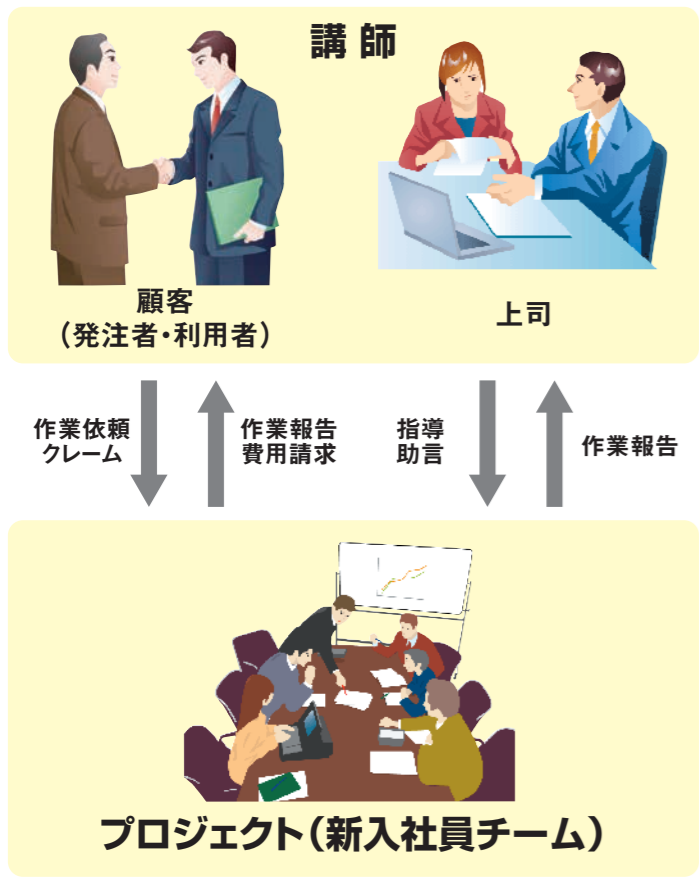
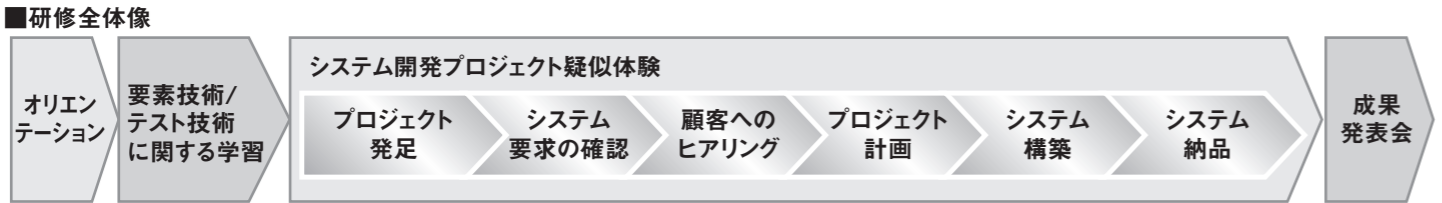
新入社員は、システム開発疑似体験において意思決定と問題解決を行います（課題解決型研修）。講師は、状況に応じて上司役/顧客役として指導します。

システム開発の疑似体験を通じて「創造するSE」の土台となる技術力・基本動作を習得します。

- ここがポイント!
- ① プログラミング言語は、Java、VB.NET、C#、C言語、COBOLの5つの言語を用意しています。

② 実際に設定した「予算」「納期」を元に、プロジェクトの疑似体験を進めていきます。

③ 要求仕様書の理解（与えられた要求仕様書の分析とシステムに必要な機能の検討）から、設計、開発、テスト、納品まで、各開発工程を体験します。



研修期間が短い中でどれだけ効率的に作業が行えるか、行えないかでプロジェクトが成功、失敗するかの結果が変化してくる研修だと感じました。自分のチームは最終的に納品に失敗してしまいましたが、今回の短い期間の中で学べたことは多く、今後の糧にしていきたいです。

新入社員の声

自分たちで考え、調べ、上司や顧客とさまざまなことを調整する経験は、技術力向上と仕事の進め方を教わるのではなく“実践”ができる素晴らしい内容でした。

実際のプロジェクトの動きを体験できてよかったです。実際に体験するのと、いきなり本番でプロジェクトに入るのとでは大きな差が出ます。今回の研修で自分には反省しかありませんでしたが、自分に根本的に足りないところがわかったことが収穫でした。この反省を活かして今後のプロジェクトの活動に取り組みたいです。

新入社員のためのシステム研修 (Java、VB.NET、C#、C言語、COBOL)～システム開発プロジェクト疑似体験						
<div>スピーチビジュレKPTテストレビュー電子教材日報発表会カルテ</div>						
言語		Java	VB.NET	C#	C言語	COBOL
電子教材	コースコード	NUL60L	NUL62L	NUL68L	NUL64L	NUL66L
	価格 (税別)	384,000円				
紙教材	コースコード	NUL61L	NUL63L	NUL69L	NUL65L	NUL67L
	価格 (税別)	399,000円			394,000円	
期間		16日間				
開催日程		東京：5/16～6/6 (Java、C#) 、6/10～7/1 (Java) 大阪・名古屋：5/16～6/6 (Java、VB.NET) ※C言語、COBOLは、お客様個別開催研修(オンサイト・トレーニング)専用コースです。 <span>P.41</span>				
前提知識		「新入社員のためのロジック研修～ロジック構築力徹底トレーニング」コース(P.18～P.19)を修了している人。または同等の知識がある人。				
概要		Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。			品質・コスト・納期・チームワークを意識した開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。	
目標		1.オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2.品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3.システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4.(Java)JDBCを使用したデータベースアクセスができる。 (VB.NET、C#)ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5.(Java)サーブレット/JSPによるWebアプリケーションの作成ができる。 (VB.NET、C#)VisualStudioによるWebアプリケーションの作成ができる。			1.システム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2.品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3.システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。	
比率 (講義：実習・演習)		3：7			1：9	
スケジュール		※スケジュールは目安です。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。				
【1日目】 ◆オリエンテーション ◆開始時のスキルレベル測定 ◆システム開発の流れ						
Java、VB.NET、C#				C言語、COBOL		
【2～5日目】 ◆要素技術に関する学習 ◆テスト技術				【2日目】 ◆テスト技術 ◆プロジェクト発足		
【6～7日目】 ◆プロトタイプング ◆プロジェクト発足				◆システム要求の確認 ◆顧客へのヒアリング		
【8～14日目】 ◆顧客へのヒアリング ◆プロジェクト計画				◆プロジェクト計画		
◆システム開発				【3～14日目】 ◆システム開発		
【15日目】 ◆納品準備 ◆システム納品 ◆終了時のスキルレベル測定						
【16日目】 ◆研修振り返り ◆プロジェクトまとめ ◆成果発表会準備						
◆成果発表会 ※「成果発表会」は育成ご担当者様も見学いただけます。詳細は別途お知らせいたします。						

[ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)]

# 新入社員のための組込みソフトウェア技術研修








コースの  
ねらい







1. 社会人としてのマインドを醸成
2. C言語から組込みプログラミングまで、幅広い基礎技術の習得と定着化
3. プロジェクト型研修を通じ、現場に即した開発力を養成

「組みあって聞いたことはあるけれど一体何なの？」  
「いわゆるシステム開発と何が違うの？」  
「モノが動くって面白い!」  
これらを新たに社会人となる皆さんに、理解してもらい、  
実際のボードを味わってもらうのが本コースの特色です。

## ここがポイント!

- ① プログラミング基礎から開発技術へ段階的に、かつ着実に積み上げるカリキュラム構成になっています。繰り返して問題を解くことにより、スキルの定着化を図ります。また、講師との対面レビューにより、受講者に合った適切な指導、アドバイスを行います。
- ② 上流工程から下流工程に至るソフトウェア開発プロセスを疑似的に体験できるので、QCDを意識した業務遂行(進捗把握・対策実施、品質状況把握、時間・コスト管理)を徹底できます。チーム活動の重要性や基本動作の習得、問題解決力の向上を図ることもできます。
- ③ 成功体験だけでなく、「納期に間に合わない」、「合意した仕様を実現できない」などといったさまざまな失敗体験を研修中に実体験でき、実務環境へ飛び込んでいく自信をつけることができます。

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修 ～C言語プログラミング～							      						
電子教材	コースコード	NFE08L	紙教材	コースコード	NFE09L	期間	9日間	開催日程	東京：6/3～6/13				
	価格(税別)	207,000円		価格(税別)	212,000円				大阪：Webでご確認ください。				
前提知識		Windowsの操作（エクスプローラーやログオンなどの操作）経験があること。											
概要		C言語のプログラミング方法について、関数の作成方法や、理解が難しいとされている、ポインタやメモリを重点的に、講義と実習を通じて系統的に順序だてて学習します。実習では、キーボードやディスプレイなどの標準入出力の操作方法から、効率的なデータ処理方法、ダブルポインタやポインタ配列、さらに動的メモリ領域の取り扱いなどについて学習します。また、多人数開発の難しさを理解し、理解しやすいプログラムの作成方法を学習します。											
目標		1. C言語の標準的な機能（関数、ポインタ、構造体）を利用してプログラムを作成できる。 2. 標準入出力命令を使用してプログラムを作成できる。 3. ポインタやメモリ操作など、プログラムで起こしやすい問題点を理解する。 4. 多重ポインタを使用したプログラムを作成できる。 5. malloc（）などによる動的メモリを使用したプログラムを作成できる。 6. リストなどのポインタを用いたデータ構造を取り扱うプログラムを作成できる。 7. 関数分割、ファイル分割による、複数人でのプログラミングに応じた、開発作業が行える。											
スケジュール		【1～3日目】C言語プログラミングの基礎 【4～5日目】C言語プログラミング(メモリ・ポインタ編) 【6～9日目】C言語プログラミング・グループ演習							比率 (講義・実習・演習)		3：7		

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修 ～組込みプログラミング～										     				
電子教材	コースコード	NFE10L	紙教材	コースコード	NFE11L	期間	10日間	開催日程	東京：6/14～6/27					
	価格(税別)	230,000円		価格(税別)	245,000円				大阪：Webでご確認ください。					
前提知識			新入社員のための「組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～」(NFE08LまたはNFE09L) コースを修了している人。または同等の知識がある人。											
概要			組込みソフトウェア開発で使用するマイコンの制御について、説明と演習により学習します。実習では、富士通製32bitマイコンを題材として、統合開発環境を使用したクロス開発により、組込み特有のアルゴリズムやさまざまな周辺機能を組み合わせたプログラムを繰り返し作成することによって、プログラム開発力の向上を図ります。また、リアルタイムOSの概要、μITRON上でのサービスコールを使用したプログラミング方法を身につけることができます。											
目標			1. IOポートとタイマーを活用し、LED、スイッチ、ブザー、モーター、センサーなどを操作するプログラムを作成できる。 2. 割込みの動作原理を理解し、割込みを処理するプログラムを作成できる。 3. プログラム仕様を元に、モジュール構造設計から単体テストに必要なドキュメントの作成とレビューが行える。 4. リアルタイムOSやμITRONの特徴について理解する。 5. μITRONのサービスコールや機能を使用したプログラムを作成できる。											
スケジュール			【1～3日目】組込みC言語プログラミング 【4～7日目】組込みプログラム開発演習 【8～10日目】リアルタイムOSプログラミング(μITRON編)					比率 (講義：実習・演習)		5：5				

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修 ～開発体験～										
<div>スピーチ</div> <div>ビジュ</div> <div>テスト</div> <div>レビュー</div> <div>電子教材</div> <div>日報</div> <div>発表会</div> <div>カルテ</div>										
電子教材	コースコード	NFE12L	紙教材	コースコード	NFE13L	期間	14日間	開催日程	東京：6/28～7/18 大阪：Webでご確認ください。	
	価格(税別)	336,000円		価格(税別)	346,000円					
前提知識			新入社員のための「組込みソフトウェア技術研修～組込みプログラミング～」(NFE10LまたはNFE11L) コースを修了している人。または同等の知識がある人。							
概要			ソフトウェア要求定義からソフトウェア総合テストに至るまでの開発プロセスを説明と演習によって学習します。状態遷移表などによる仕様のモデル化、テスト設計、レビュー技術をととして、システム開発作業を効果的に習得します。研修後半では、プロジェクト発足からシステム納品までを主体的に行うことにより、組込みソフトウェア開発作業の流れを習得します。実際の開発に必要なとなる、チーム活動における主体的な行動意識や、QCDへの意識、報連相などの基本動作を身につけます。							
目標			1. 要求仕様を状態遷移図、状態遷移表などにモデル化する手法を理解する。 2. 効果的なレビューを実施するための基礎技術を理解する。 3. 組込みソフトウェア開発におけるテストケース設計技術を理解する。 4. 単体/結合テストをホワイトボックス/ブラックボックスの観点からテストする。 5. ソフトウェア開発の一連の作業を自主的に推進できるスキルを習得する。 6. プロジェクトメンバーとして必要な行動様式を定着させる(協調意識、報連相などの基本動作、QCDの意識)。 7. 技術的な課題を自力で解決する技術者マインドを醸成する。							
スケジュール			【1～3日目】 工程体験：要件定義・設計 【4日目】 実装・テスト 【5～9日目】 プロジェクト疑似体験：要件定義・設計 【10～14日目】 実装・テスト・発表 ※「発表」は育成ご担当者様も見学いただけます。詳細は別途お知らせいたします。					比率 (講義：実習・演習)		3：7

## ■研修全体像

本研修は、「C言語プログラミング」→「組込みプログラミング」→「開発体験」の3コースで構成されています。

(1) 新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～(NFE08L／NFE09L)  
苦手意識を持ちやすいC言語のポインタやメモリを徹底的に訓練し、「多人数での開発」や「他人が作った設計ドキュメントからのプログラミング」の難しさを体験し、理解します。  
チームで開発に取り組み、仮想のお客様に対して仕様を決めます。それに沿った設計ドキュメントを作成し、そのドキュメントを他チームに渡しプログラムの実装を依頼します。

(2) 新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～組込みプログラミング～(NFE10L／NFE11L)  
組込みソフトウェアのプログラミングを学習し、実際に学習ボードを操作して、LEDの点灯、ブザーによるメロディー再生、モーター制御、7セグメントLEDのダイナミック点灯など、モノが動くことの喜びを実体験して組込みの面白さを感じることができます。  
また、割込みやリアルタイムOSなどの組込みならではのプログラムについても学習します。

(3) 新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～開発体験～(NFE12L／NFE13L)  
コース前半では組込みソフトウェア開発における要求定義から総合テストに至るまでの各工程を体験し、学習します。コース後半ではチームで、実際の開発プロジェクトを疑似的に体験します。  
12分の1スケールのラジコンカーを赤外線発光のテレビリモコンで操作するシステムを開発します。ボード間はCANで通信させ、リモコン受信とモーター駆動を別マイコンで制御します。  
車としての基本的な機能以外に、チームごとに特色のある仕様を追加機能として提案します。  
講師は、あるときはお客様役、あるときは上司役になりきって、実際の開発シーンを演出します。

## ※個人カルテの発行条件

「新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～(NFE08LまたはNFE09L)」から、「新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～開発体験(NFE12LまたはNFE13L)」までの3コースすべてをお申込みの場合に、個人カルテを発行いたします。

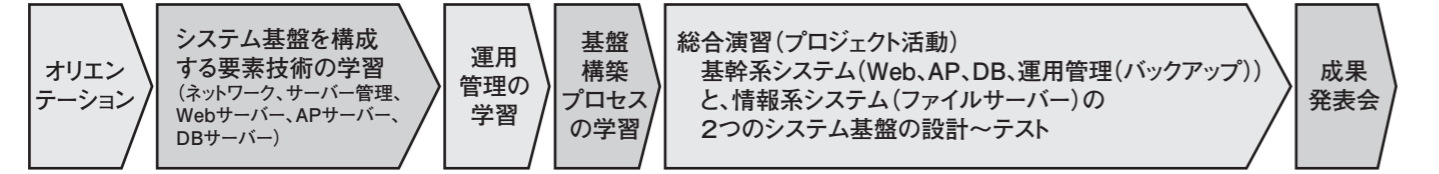
コースの  
ねらい

1.システム基盤の全体像の理解  
2.QCDの遵守  
3.運用の重要性の理解

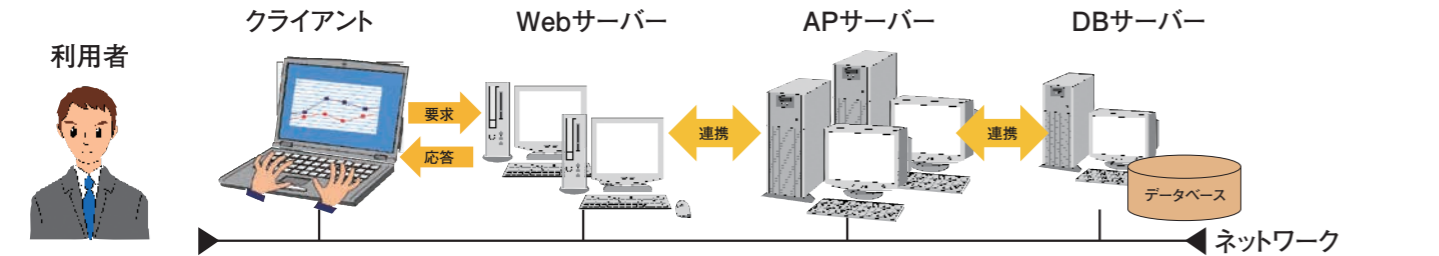
システム基盤環境を構成する要素技術や、運用管理の重要性を体系的に学習した後、システム基盤構築の上流工程から下流工程までの一連の工程をプロジェクト活動として体験します。

- ここがポイント!
- ①Web3階層システムのシステム基盤を構築するうえで必要となる要素技術や運用管理の重要性を体系的に学習し、各種サーバーを構築します。
  - ②システム基盤構築の一連の工程(要件定義、基本設計、詳細設計、構築、単体テスト、結合テスト、システムテスト)をプロジェクト活動として体験し、品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作や問題解決力およびコミュニケーション能力を養います。

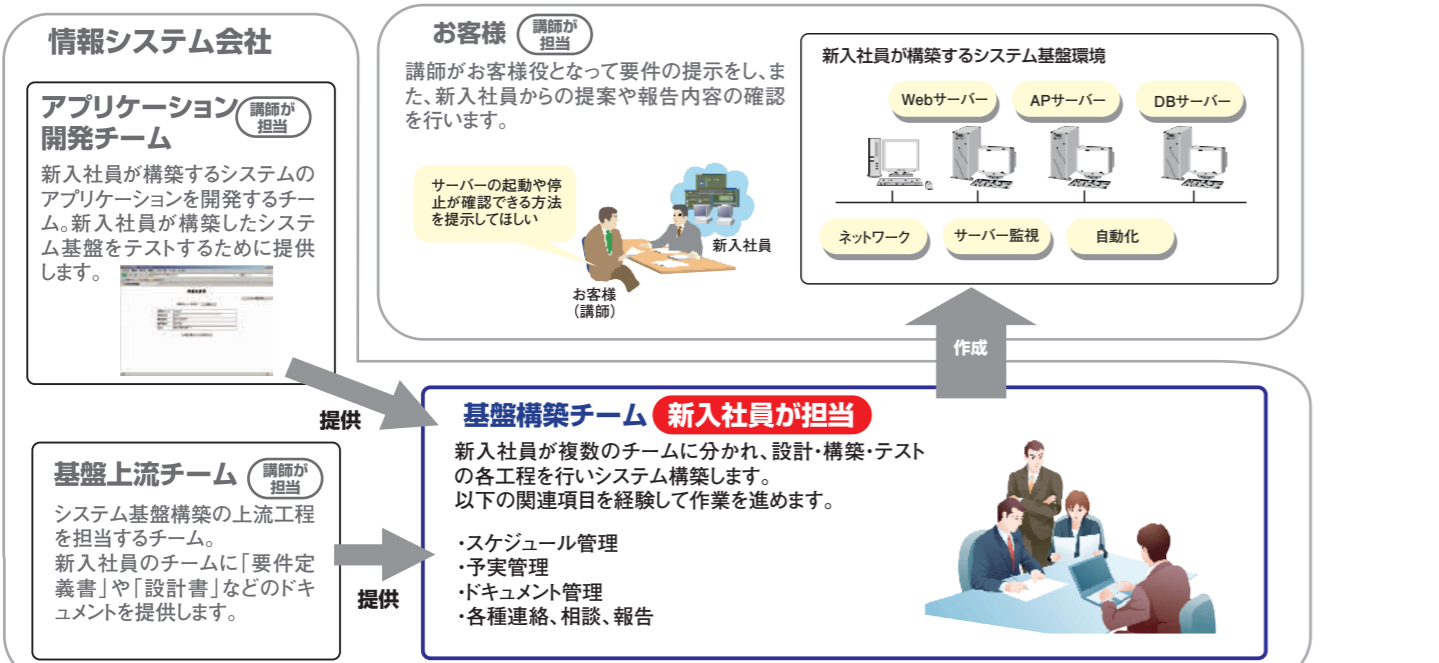
研修全体像












Web3階層システムの全体像



総合演習における新入社員の役割



※内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

新入社員のためのシステム基盤構築研修					 スピーチ	 ビジュ	 KPT	 テスト	 Rレビュー	 電子教材	 日報	 発表会	 カルテ
電子教材	コースコード	NBI15L	紙教材	コースコード	NBI16L	期間	16日間						
	価格(税別)	384,000円		価格(税別)	399,000円								
開催日程		東京：5/16～6/6、6/10～7/1											
前提知識		「新入社員のためのIT 研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～」(NBI04L または NBI13L) コースを修了している人。または同等の知識がある人。											
概要		システム基盤構築に必要な要素技術(ネットワーク、サーバー管理、Web3階層システム)について学習します。また、システム基盤構築作業の全体的な流れや、基本的な運用管理のポイントも合わせて学習します。研修の後半では、システム基盤の設計から構築までの全体的な流れを体験することにより、システム開発全体におけるシステム基盤構築作業の位置付け、設計、構築概要を理解します。また、品質・コスト・納期を意識した、プロジェクト活動で求められる問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。											
目標		1. システム基盤構築作業の全体的な流れを説明できる。 2. 顧客要件に対応したシステム基盤のパラメータ設計およびテスト設計ができる。 3. システム基盤の構築作業(構築手順書作成、構築作業)ができる。 4. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 5. システム基盤構築を進めるためのチーム活動と基本動作ができる。											
スケジュール					比率(講義：実習・演習)					4：6			

※スケジュールは目安です。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 【1日目】

  - ◆オリエンテーション
  - ◆開始時のスキルレベル測定  
ー事前理解度テスト  
ースキル項目チェック
  - ◆システム基盤の全体像と、構築プロセスの確認
- 【2日目～6日目】

  - ◆要素技術に関する学習  
ネットワーク、サーバー管理、Webサーバー、APサーバー、DBサーバーの要素技術と要件に沿った実装方法を学習します。
- 【7日目～8日目】

  - ◆運用管理の概論に関する学習  
運用管理の重要性、意識すべき要素を学習します。
  - ◆基盤構築プロセスの学習  
システム基盤を構築するプロセスと、そのポイントを学習します。
- 【9日目～14日目】

  - ◆総合演習(プロジェクト活動)  
基幹系システム(Web、AP、DB、運用管理(バックアップ))と、情報系システム(ファイルサーバー)の2つのシステム基盤の設計～テストまでの一連の構築プロセスを実施します。
- 【15日目】

  - ◆納品準備
  - ◆納品
  - ◆終了時のスキルレベル測定  
ー事前理解度テスト  
ースキル項目チェック
  - ◆システム基盤構築振り返り
  - ◆成果発表会準備
- 【16日目】

  - ◆成果発表会  
システム基盤構築研修の作業を通じて得られた知識、経験、気づきと、配属後の目標をプロジェクト単位で報告します。  
※「成果発表会」は育成ご担当者様も見学いただけます。詳細は別途お知らせいたします。

技術要素をまんべんなく学んだうえでプロジェクト演習に入ったことで、得た知識の理解をさらに深めることができました。

最初はとても長い研修のように感じていましたが、プロジェクトが始まってみると本当に一瞬でした。他のチームを見ても8日間の内にさまざまな問題が発生しており、成功体験ではなくても、いい経験ができたと思います。

新入社員の声

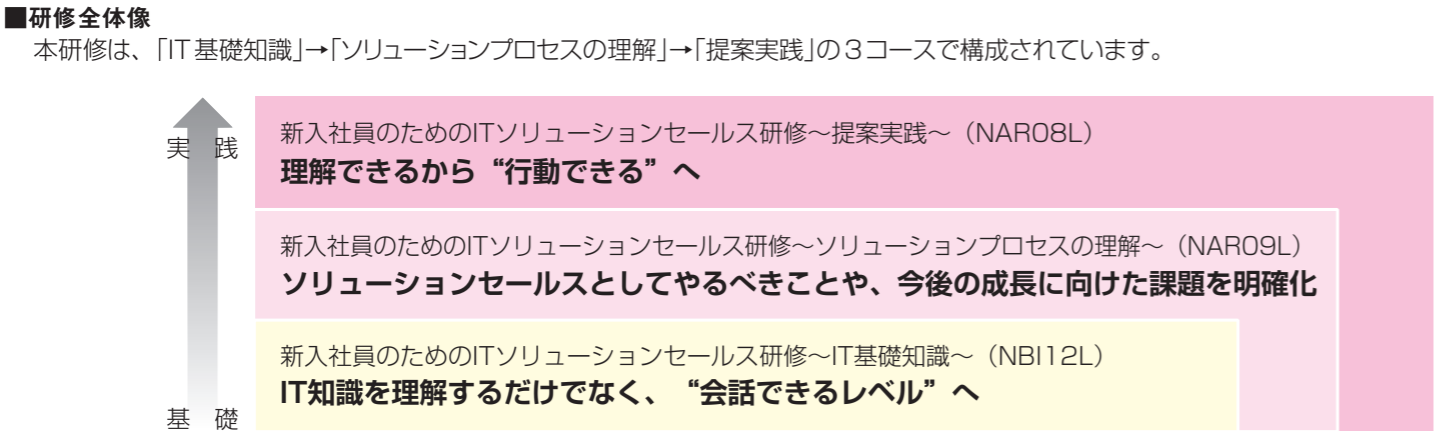
与えられたインプットだけでは対応できないプロジェクト活動だったことが、自身の成長につながったと思います。主体性を発揮しなければ解決しない課題設定で、自身の弱みを明確に把握することができました。知識と技術に自信が持てるようになる研修構成、内容でした。

【ITソリューションセールス】  
新入社員のためのITソリューションセールス研修



コースの ねらい	1. 社会人としての基本動作と、お客様起点の考え方の理解
	2. ITソリューションセールスとして、“会話・説明できる”レベルでのIT基礎知識の習得
	3. ITソリューションセールスの役割と、ソリューションプロセスの理解
	4. ロールプレイによる、“理解できる”から“行動できる”に向けた実践力の定着化







ここがポイント！

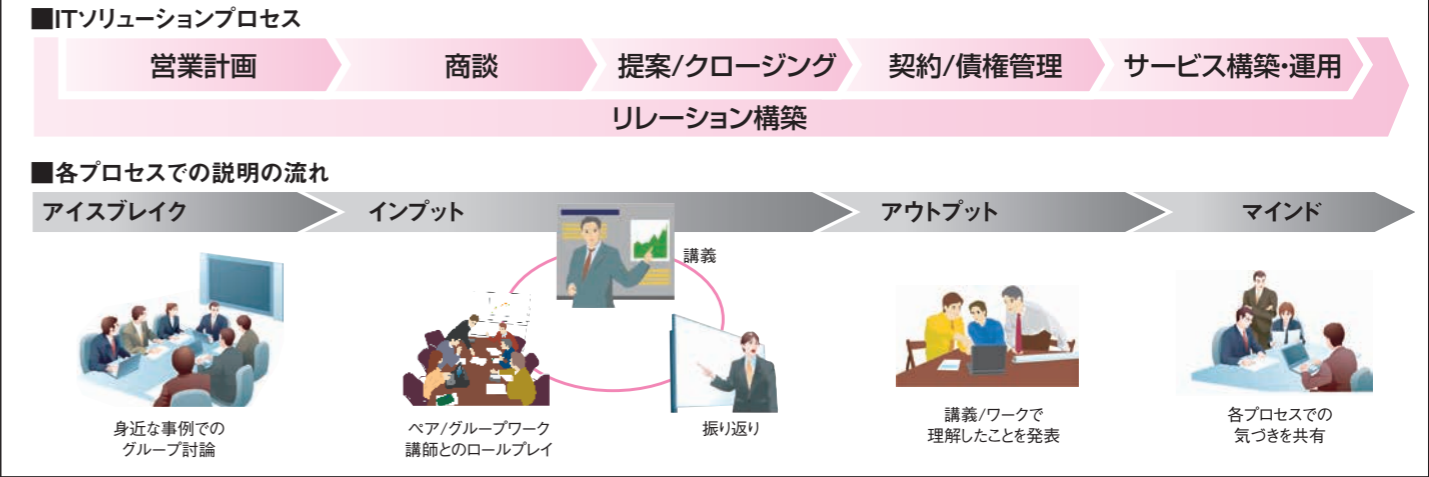
- ① IT知識を理解するだけでなく、“会話できるレベル”へ！  
講義を通じてIT知識をインプットするのみではなく、「学んだIT用語を相手に説明する演習」「ビジネス活用を考える演習」などを通じて理解度を高め、会話できるレベルを目指します。IT基礎知識だけでなく、トレンドキーワード(デジタルビジネス、クラウド、ビッグデータなど)をもおさえることで、会話の幅を広げます。
- ② ソリューションセールスとしてやるべきことや、今後の成長に向けた課題を明確化！  
ソリューションプロセスの理解によって“ITソリューションセールスとしてやるべきこと”が明確化でき、実務での迷走感を払拭できます。また、評価を自己・他者・講師の三方向から行うことで、自身の強み/弱みを客観的に知ることができ、今後の自身の成長に活用できます。
- ③ “理解できる”から“行動できる”へ！  
提案実践編(NAR08L)では、ロールプレイ形式でケース企業への提案活動を体験します。前提の研修で学んだことを踏まえ、何をすべきかを自身で考え、行動に移します。お客様役・上司役の講師とのやり取りと、提案活動の一連の流れを体験することで、土台となる知識・スキル・マインドを総合的に習得し、“理解できる”から“行動できる”への発展と定着化を図ります。





※個人カルテの発行条件  
「新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～(NAR09L)」コースをお申込みの場合に、個人カルテを発行いたします。

新入社員のためのITソリューションセールス研修～IT基礎知識～						 テスト	 日報
紙教材	コースコード	NBI12L	価格(税別)	54,000円	期間	2日間	
開催日程		東京・名古屋：4/11～4/12					
前提知識		特に必要ありません。					
概要		ITソリューションセールスとして、必要となる基本的なIT知識を習得します。システム提案に必要なユーザーと同等レベルのシステム関連知識やトレンドキーワード（IoT、AI、VRなど）を学習します。 2018年度開催分からは、ICTを活用して新たなビジネスを生み出す <u>デジタルビジネス</u> についてもミニワークを交え学習します。					
目標		1. お客様に提供するITソリューションの概要を理解する（事例から学ぶ）。 2. 商談活動で必要となる基本的なIT知識・スキルを習得する。 3. システム開発のプロセスおよび基本的な用語を理解する。 4. ビジネスプロセスにおけるITソリューションセールスとしての役割を理解する。				比率 (講義・実習・演習)	6：4
スケジュール		【1日目】 ◆ITソリューションとは ◆ITソリューションセールスにITの知識が必要な理由 ◆ITについて知ろう			【2日目】 ◆ITについて知ろう(つづき) ◆システム開発について知ろう ◆トレンドをおさえよう		

新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～												
紙教材	コースコード	NAR09L	価格(税別)	250,000円	期間	10日間						
開催日程		東京・名古屋：4/15～4/26										
前提知識		特に必要ありません。										
概要		ソリューションビジネスを行ううえで基礎となるプロセスの全体像を理解し、事例を踏まえながら、各プロセスの実行に必要なスキル・知識を習得します。										
目標		1. ソリューションプロセスの全体の流れを理解する。 2. 各プロセスにおけるポイントや留意点を理解する。 3. ソリューションセールスとしてのマインドや立ち居振る舞いを習得する。							比率 (講義・実習・演習)		4：6	
スケジュール		<b>【1～3日目】</b> ◆オリエンテーション ◆開始時のスキルチェック ◆ITソリューションプロセスの全体の流れを理解する ◆リレーション構築のプロセス ◆営業計画のプロセス	<b>【4～5日目】</b> ◆商談のプロセス		<b>【6日目】</b> ◆商談のプロセス (つづき)		<b>【7日目～9日目】</b> ◆提案・クローシングのプロセス ◆契約のプロセス ◆サービス構築のプロセス ◆債権管理のプロセス		<b>【10日目】</b> ◆運用のプロセス ◆成果発表会			



新入社員のためのITソリューションセールス研修～提案実践～							 日報	 発表会
紙教材	コースコード	NAR08L	価格(税別)	125,000円	期間	5日間		
開催日程		東京・名古屋：5/7～5/13						
前提知識		「新入社員のための IT ソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～」(NAR09L) コースを修了している人。または同等の知識がある人。						
概要		講師がお客様・上司役となり、ケース企業への提案活動(アプローチから提案まで)をロールプレイ形式で体験します。1つの事例をとおしてITソリューションプロセスの一連の流れを体験することで、ITソリューションセールスの土台となるIT知識・スキル・マインドを総合的に習得します。また、その中で自分の強み、弱みを認識し、現場配属に備えます。						
目標		1. お客様のニーズを把握し、仮説をたて、最適なITソリューションを提供する流れを体得する。 2. お客様や上司とのコミュニケーション方法を習得する。 3. グループ作業における立ち振る舞いやコミュニケーション方法を習得する。					比率 (講義:実習:演習)	1:9
スケジュール		<b>【1日目】</b> ◆オリエンテーション ◆基本講義 ◆提案実践 —顧客訪問準備 —顧客訪問(一次) ◆営業日報作成	<b>【2日目】</b> ◆提案実践 —顧客訪問準備 —顧客訪問(二次) ◆営業日報作成	<b>【3日目】</b> ◆提案実践 —顧客訪問 ◆ITソリューション提案 講義 ◆営業日報作成	<b>【4日目】</b> ◆提案実践 —顧客訪問 —顧客向けITソリューション 提案の準備 ◆営業日報作成	<b>【5日目】</b> ◆提案実践 —顧客向けITソリューション 提案の準備 —顧客へのITソリューション 提案 ◆研修まとめ		

情報システム部門配属者向け新入社員研修

コースの  
ねらい

1. 情報システム部門の役割を理解  
2. IT基礎スキルおよび開発上流工程のスキル  
習得  
3. 発注者の立場でシステム開発の流れを体感

情報システム部門に求められる役割・スキルを段階的なカリキュラムで習得・体感することで、将来、情報システムの面から会社の業務をリードできる人材としての土台を形成します。

ここがポイント！

① 段階的なカリキュラム構成による着実なステップアップ

情報システム部門としての役割/求められるスキルの理解 ⇒ IT基礎スキルの習得、開発工程の理解⇒総合演習（開発工程の疑似体験）という段階的な流れで学習することで、情報システム部門に配属される新入社員に求められる知識・スキルを着実に習得します。

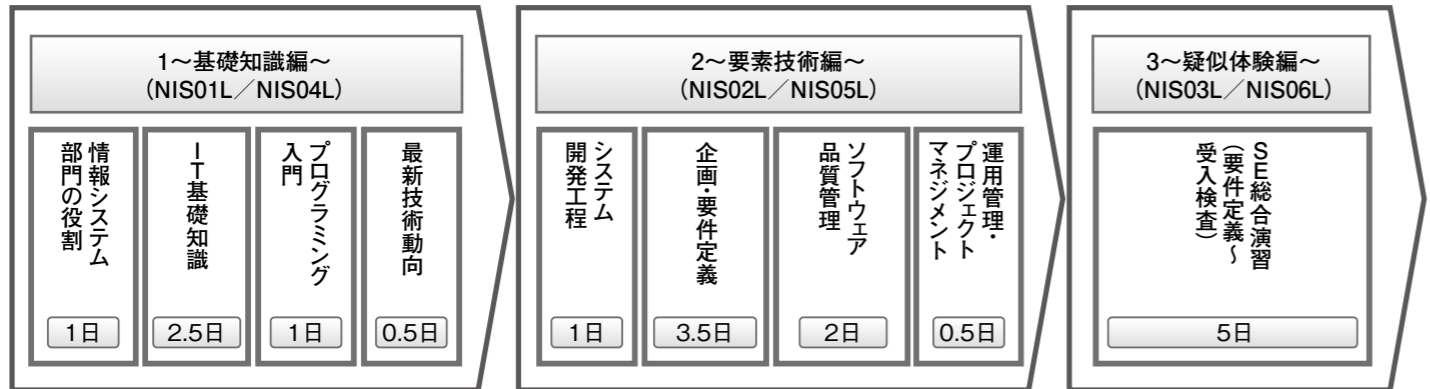
② 情報システム部門で活躍するための土台となる基礎知識・上流工程スキルの習得

IT初心者から学習できるよう、ITの基礎知識・スキルから学習を開始します。そのうえで、情報システム部員にとって特に重要なスキルとなる企画・要件定義、品質管理、プロジェクトマネジメント、運用管理といった要素を重点的に学習します。

③ 発注者の立場でシステム開発の流れを体感

研修のまとめとして、5日間のシステム開発工程疑似体験を行います。ここでは、新入社員は情報システム部門のメンバーという立場で、利用部門へのヒアリング、要件定義書の作成、協力会社への発注内容の説明、受入検査といった工程を、ロールプレイ形式で体験します。配属後に直面する発注者としての立場を疑似体験することで、配属後の業務イメージをつかみます。

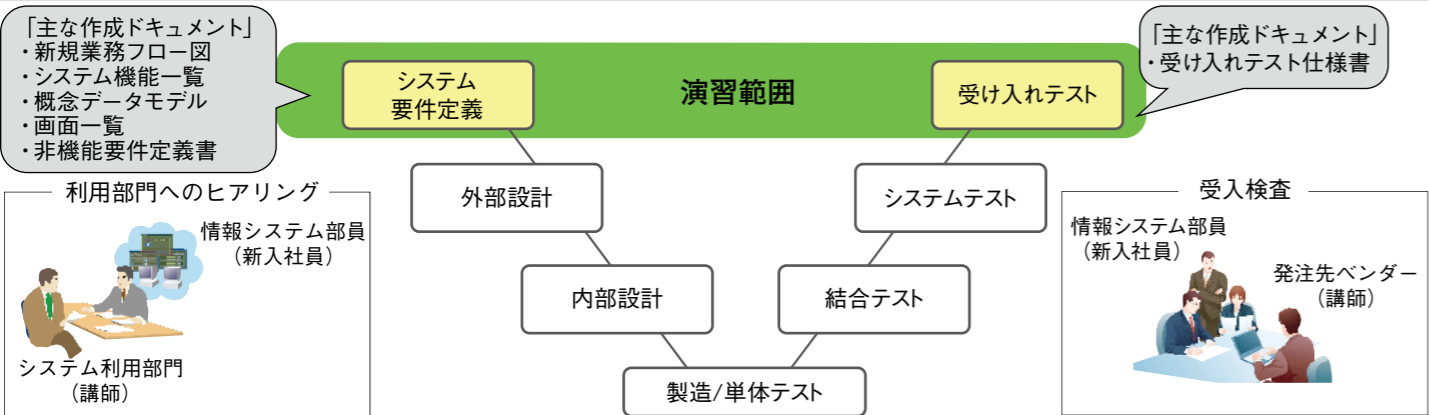
■研修全体像



※各コースのスケジュールは目安です。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■疑似体験編 総合演習のイメージ

利用部門から提示された要件をもとに、要件定義書を作成し発注します。また、納入されたシステムの受け入れテストを実施します。



※疑似体験編 総合演習の最終日には「発注先ベンダー向け説明会」を開催します。育成ご担当者様もぜひご参加ください。詳細は別途お知らせいたします。

※個人カルテの発行条件

「情報システム部門配属者向け新入社員研修1～基礎知識編～(NIS01L または NIS04L)」から「情報システム部門配属者向け新入社員研修3～疑似体験編～(NIS03L または NIS06L)」までの **3 コースすべてを連続日程**でお申込みの場合に、個人カルテを発行いたします。

情報システム部門配属者向け新入社員研修1～基礎知識編～

電子教材	コースコード 価格(税別)	NIS01L 115,000円	紙教材	コースコード 価格(税別)	NIS04L 120,000円	期間	5日間	開催日程	東京・名古屋: 7/3～7/9、10/9～10/16
前提知識	特に必要ありません。								
概要	情報システム部員に求められる役割・スキルを認識したうえで、ICTに関する基礎知識、最新動向、プログラミングの基礎知識などICTの基礎知識・スキルを講義と演習によって習得します。								
目標	1. 企業における情報システム部門の役割と部員に求められるマインド・スキルを理解する。 2. ICTの基礎知識(ハード、ソフト、OS、ネットワーク、データベース)を理解する。 3. ICT 関連の技術動向やキーワードを知ることの重要性を説明できる。 4. 基本的なプログラムが作成できる。							比率 (講義:実習:演習)	6:4
スケジュール	【1日目】 ◆情報システム部門の役割 ー情報システム部門の役割 ー情報システム部員に求められるスキル		【2日目～4日目AM】 ◆IT基礎知識 ーハードウェア、ソフトウェア ーOS、データベース、ネットワーク ーWebシステム		【4日目PM～5日目AM】 ◆プログラミング基礎 ーJavaの概要 ー変数と配列、演算子、制御文 ーメソッド		【5日目PM】 ◆最新技術動向 ークラウドコンピューティング ー仮想化技術、ビッグデータ ー最新情報の収集		

情報システム部門配属者向け新入社員研修2～要素技術編～

電子教材	コースコード 価格(税別)	NIS02L 161,000円	紙教材	コースコード 価格(税別)	NIS05L 166,000円	期間	7日間	開催日程	東京:7/10～7/19、10/17～10/28 名古屋:7/10～7/19
前提知識	「情報システム部門配属者向け新入社員研修1 ～基礎知識編～」(NIS01LまたはNIS04L)コースを修了している人。または同等の知識がある人。								
概要	システム開発に必要な知識、開発工程の全体像や各作業の概要を講義中心に学習します。また、情報システム部員に特に必要となる、要素技術(要件定義、品質管理、システム運用)については、演習を交えて理解を深めます。								
目標	1. システム開発工程の全体像、および各工程の目的、作業の概要を理解する。 2. 業務要件、システム要件の定義について作業手順や主な成果物について理解する。 3. ソフトウェアの品質管理の基本的な考え方を理解する。 4. システム運用およびプロジェクトマネジメントの必要性、全体像が理解できる。							比率 (講義:実習:演習)	6:4
スケジュール	【1日目】 ◆システム開発工程 ーシステム開発の基礎知識 ーシステム開発作業の流れ		【2日目～5日目AM】 ◆企画、要件定義 ー業務要件定義 ープロセスモデリング ーデータモデリング ー機能要件定義 ー非機能要件定義		【5日目PM～7日目AM】 ◆ソフトウェア品質管理 ーソフトウェアの品質管理 ーレビュー技術、外部設計レビュー ーテスト技術、受け入れテスト ーテスト計画、品質評価		【7日目PM】 ◆システム運用/プロジェクト管理 ーシステム運用の代表的な作業 ープロジェクトマネジメントの基礎 ー調達マネジメント		

情報システム部門配属者向け新入社員研修3～疑似体験編～

電子教材	コースコード 価格(税別)	NIS03L 115,000円	紙教材	コースコード 価格(税別)	NIS06L 117,000円	期間	5日間	開催日程	東京:7/22～7/26、 10/29～11/5
前提知識	「情報システム部門配属者向け新入社員研修2 ～要素技術編～」(NIS02LまたはNIS05L)コースを修了している人。または同等の知識がある人。								
概要	情報システム部門のメンバーという立場でシステム開発工程を疑似体験します。講師がシステムの利用部門役・上司役・発注先ベンダー役となり、利用部門へのヒアリング、要件定義書の作成、協力会社への発注内容の説明、受け入れテストといった工程を、ロールプレイ形式で実践します。配属後に直面する発注者としての立場を疑似体験することで、現場配属に備えます。								
目標	1. 情報システム部門におけるシステム開発工程および開発作業の概要を理解する。 2. 関係者(社内/社外)の立場・期待を理解する。 3. グループ作業における立ち居振る舞いやコミュニケーション方法を習得する。							比率 (講義:実習:演習)	1:9
スケジュール	【1日目】 ◆オリエンテーション ー演習の進め方 ー利用部門からの要件の提示 ◆要件定義書作成演習 ー要求の整理 ー利用部門へのヒアリング		【2日目】 ◆要件定義書作成演習 ー要件定義書作成チーム内レビュー、上司レビュー、利用部門レビュー/合意		【3日目】 ◆要件定義書作成演習 ー要件定義書作成(つづき)		【4日目】 ◆要件定義書作成演習 ー要件定義書作成(つづき)		【5日目】 ◆受入検査演習 ー受け入れテスト仕様作成 ー上司レビュー ◆要件定義書作成演習 ー発注先ベンダー向け説明会

実務経験が豊富な添削者陣による  
丁寧な指導！

Pick Up!

e講義動画のご紹介


富士通ラーニングメディアの集合研修を動画でお届け！

こんな課題をお持ちではありませんか？

- ・内定者が基礎知識の習得を開始するための学習しやすいコンテンツを提供したい。
- ・新入社員研修受講後、弱点を反復学習させることで知識を定着させたい。
- ・配属後、忙しくなっても最新技術やトレンドを把握させたい。

e講義動画

をお薦めします！



コース内検索  
講師の語りのテキスト表示  
e講義動画プレイヤー

e講義動画のポイント

1

信頼の講義カリキュラム

「e講義動画」の内容は、当社が教室で提供しているオープン講習会の講義そのものです。

2

標準学習時間は講習会の約半分

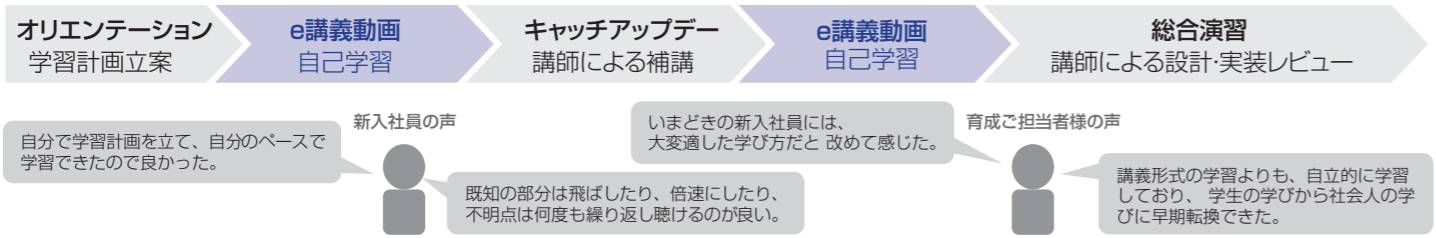
「e講義動画」は、講習会よりも短時間（元の講習会が1日コースなら、約3時間）で学ぶことが可能です。

3

学びを促進するしかけの提供

キーワード検索で知りたい情報がすぐに検索できます。また動画は中断も可能で、指定した位置から視聴を開始できます。講師の語りをテキストや字幕で表示でき、動画の再生スピードも調整できます。スマートフォンなどのモバイル端末でも再生できます。

e講義動画の適用事例（新入社員研修の場合）



さらに・・・**e講義動画ライブラリ**では100を超えるコースを1年間受け放題です！

e講義動画ライブラリのポイント

圧倒的なコストパフォーマンス

1年間、50名様に、72万円(税別)で受け放題のサービスを提供します。(1人1コースあたり約140円)  
まさにライブラリとして、必要な学びの場を常備できます。

Javaプログラマー早期育成のためのe講義動画シリーズ

入門・基礎

応用・実践

◆Webアプリケーション開発スキルを短期間で習得する

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】基本文法1  
UVC58D 8週間

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】基本文法2  
UVC59D 8週間

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】例外処理  
UVC60D 8週間

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】JDBCプログラミング  
UVC61D 8週間

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】サプレット/JSP  
UVC62D 8週間

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】セットクラウド実習環境付  
UCL05D 8週間

【e講義動画】【Javaプログラマー早期育成シリーズ】SVNによるバージョン管理  
UHD24D 8週間

…e講義動画でのご提供です。

内定期間中の事前学習におすすめしたいコースをご紹介します。  
新入社員が社会人生活をスムーズにスタートさせるために、入社までの期間に、学習する習慣や社会人としての意識の基盤づくりを行い、各人のモチベーションを維持しておくことが効果的です。

～こんなご要望はありませんか？～

文系採用の内定者に、事前にICTの基礎知識を習得させたい。

内定者向けにICTに関するeラーニングコースを多数提供しています。情報処理試験対策、ビジネスマナーの基礎を習得するためのコースもあります。

※2018年8月時点の価格(税別)です。  
※コースの最新情報や詳細、最新の価格、お申込みについてはWebサイトをご確認ください。

内定者向けeラーニング（ICT基礎知識／TOEIC／ビジネスマナー）

◆コンピュータシステムの基礎を習得させたい	超入門！コンピュータシステムのしくみ (eラーニング) UEL57B 8週間 19,000円	内定者のためのコンピュータ基礎 (ハードウェア・ソフトウェア) UNT09B 8週間 10,000円	内定者のためのデータベース基礎 UNT10B 8週間 10,000円
	IT技術者のためのネットワーク基礎 (eラーニング) UBP04D 26週間 16,000円	内定者のためのネットワーク基礎 UNT11B 8週間 10,000円	内定者のためのサーバ基礎 UNT12B 8週間 10,000円
◆アプリケーション開発の基礎を習得させたい	システム開発基礎 (eラーニング) UEL34B 8週間 40,000円	システム設計基礎 (eラーニング) UEL38B 8週間 60,000円	アルゴリズムとデータ構造の基礎 UEL40B 8週間 40,000円
◆プログラミングの基礎を習得させたい	COBOLプログラミング基礎 (eラーニング) UEL45B 8週間 60,000円	C言語プログラミングの基礎 (eラーニング) UEL46B 8週間 60,000円	【e講義動画】C言語プログラミングの基礎 UHD27D 8週間 9,800円
	Javaプログラミング基礎 演習付 (eラーニング) UEL35B 8週間 60,000円	【e講義動画】Javaプログラマー早期育成シリーズ】セット クラウド実習環境付 UCL05D 8週間 100,000円	【e講義動画】C#プログラミング基礎 UHD08D 8週間 9,800円
◆情報処理試験対策をさせたい	コンピュータシステムの基礎 UIT13B 26週間 23,000円	合格キャンパス ITパスポート試験対策講座(2019年度) UTC45B 26週間 10,000円	合格キャンパス 基本情報技術者試験 対策講座(2019年春) UTC47B 26週間 35,000円
◆TOEIC対策をさせたい	TOEIC(R) L&R TEST 完全達成 470 USK15D 13週間 15,000円	TOEIC(R) L&R TEST 完全達成 650 USK16D 13週間 15,000円	TOEIC(R) L&R TEST 完全達成 730 USK17D 13週間 15,000円
	TOEIC(R) L&R TEST対策 500点コース FOR BIZ UTA01B 16週間 25,000円	TOEIC(R) L&R TEST対策 650点コース FOR BIZ UTA02B 16週間 27,000円	TOEIC(R) L&R TEST対策 750点コース FOR BIZ UTA03B 16週間 30,000円
◆ビジネスマナーの基礎を習得させたい	自信がつくビジネスマナー 改訂2版 (eラーニング) UFD11B 8週間 8,000円	【日経】新入社員のためのビジネス常識 :秋冬開講 UNB27B 8週間 12,000円	IT技術者のためのビジネススキル (eラーニング) UBP03D 26週間 16,000円
	【日経】パワーポイントを使った ビジネス・プレゼンテーション :秋冬開講 UNB04B 8週間 18,000円	【日経】3時間でわかる ロジカルコミュニケーション～報・連・相～ :秋冬開講 UNB01D 8週間 8,000円	
	【日経】日経新聞の記者経験者が添削 ビジネス文章力養成講座 :秋冬開講 UNB44B 8週間 9,300円	【日経】日経新聞の記者経験者が添削 ビジネス文章力養成講座 上級編 :秋冬開講 UNB39B 8週間 20,000円	文章力を鍛える！ビジネス文書作成 トレーニング【文書添削】 UAF01B 28週間 60,000円
◆論理思考力／発想力を身につけさせたい	【日経】実践ロジカルライティング入門 :秋冬開講 UNB07B 8週間 18,000円	【日経】実践ロジカルシンキング入門 :秋冬開講 UNB06B 8週間 18,000円	能力開発：私生活と仕事の両立 UNE39B 26週間 19,000円

【日経】から始まるコースは、株式会社日本経済新聞社との提携コースで、月1回開催です。  
また、4月～9月の春夏開講コースはコースコードが異なります。

おすすめコース(内定者向け)

おすすめコース(若年層向け)

e...eラーニングでのご提供です。  
v...e講義動画でのご提供です。

～こんなご要望はありませんか？～

スマホ世代の内定者に、事前にMicrosoft Officeを習得させたい。

Microsoft Officeの前提知識があると、新入社員研修でも効率よく学習できるため、おすすめです。  
若年層向けのスキルアップコースも提供しています。

Microsoft Office  
内定者向け

若年層向け

◆Wordでビジネス文書をきれいに作成するスキルを習得させたい

Office 2016

よくわかる Word 2016 基礎	e
UFO35B	8週間 3,500円

Office 2013

よくわかる Word 2013 基礎 (eラーニング)	e
UFO13B	8週間 4,000円

Office 2010

Word 2010 基礎編(eラーニング)	e
ULW38B	8週間 8,000円

◆Excelでデータを加工/分析するスキルを習得させたい

Office 2016

よくわかる Excel 2016 基礎	e
UFO38B	8週間 3,500円

Office 2013

よくわかる Excel 2013 基礎 (eラーニング)	e
UFO15B	8週間 4,000円

Office 2010

Excel 2010 基礎編(eラーニング)	e
ULW40B	8週間 8,000円

よくわかる Word 2016 応用	e
UFO36B	8週間 3,500円

よくわかる Word 2013 応用 (eラーニング)	e
UFO14B	8週間 4,000円

Word 2010応用編(eラーニング)	e
ULW39B	8週間 8,000円

よくわかる Excel 2016 応用	e
UFO39B	8週間 3,500円

よくわかる Excel 2013 応用 (eラーニング)	e
UFO16B	8週間 4,000円

Excel 2010応用編(eラーニング)	e
ULW41B	8週間 8,000円

◆効率的に業務を行うスキルを習得させたい

基礎から学ぶ！ Excelマクロ機能による業務の自動化	e
UUF09L	1日間 33,000円

仕事の効率アップ 知っておきたい Excel関数を使った集計表作成	e
UFO32B	8週間 3,500円

業務に役立つ！Excelによるデータ活用 (集計編)	e
UUF06L	1日間 30,000円

【e講義動画】業務に役立つ！ Excelによるデータ活用(集計編)	v
UVC93D	8週間 9,800円

基礎から学ぶ！ Excel VBAによる業務の自動化	e
UUL80L	1日間 30,000円

【e講義動画】基礎から学ぶ！ Excel VBAによる業務の自動化	v
UVC53D	8週間 9,800円

基礎から学ぶ！Excel VBAによる 業務の自動化(eラーニング)	e
UEL32B	8週間 27,000円

業務に役立つ！ 効果的なPowerPoint資料の作成方法	e
UUB05L	1日間 30,000円

◆説得力のある提案書作成やプレゼンテーションを効率よく行わせたい

Office 2016

よくわかる PowerPoint 2016 基礎	e
UFO41B	8週間 3,500円

Office 2013

よくわかる PowerPoint 2013 基礎	e
UFO17B	8週間 4,000円

Office 2010

PowerPoint 2010 基礎編 (eラーニング)	e
ULW42B	8週間 8,000円

PowerPoint 2010 応用編 (eラーニング)	e
ULW43B	8週間 8,000円

◆Accessでデータを操作するスキルを習得させたい

Access 2010(eラーニング)	e
ULW44B	8週間 8,000円

【e講義動画】Access入門	v
UVC29D	8週間 9,800円

配属後も継続してスキルアップするためにおすすめしたいコースをご紹介します。

新入社員がプロジェクトに途中参入し、与えられた業務に追われるままになっているような状況はありませんか？

若年層の業務の成熟度をあげるためには、プロジェクトや仕事の全体像を改めて理解した上で、業務遂行に必要なヒューマンスキルを整理する機会を持つことが大切です。また、新入社員から若手社員になると任せられる業務も多重化、複雑化するため、情報を論理的に整理して相手に伝え人を動かしていく力や職種別スキルも強化していきたい部分です。

～こんなご要望はありませんか？～

配属後も継続してビジネススキルを向上させてほしい。

若年層向けにも、コミュニケーション力や論理思考力を高める多彩なコースをeラーニング、集合研修などさまざまな形態で提供しています。

ビジネススキル

◆論理的思考力/発想力を向上させたい

ビジネスに活かす論理的思考 ～基本理解とトレーニング～	e
UAF78L	2日間 82,000円

【e講義動画】ビジネスシーンにおける 論理的思考力向上研修	v
UVC26D	8週間 9,800円

◆思いや考えを相手に正しく伝えさせたい

アサーティブ・コミュニケーション ～言いにくいことを上手に言うための基本スキル～	e
UZE90L	1日間 38,000円

アサーティブ・コミュニケーション実践 ～業務の目的を達成するためのアプローチ～	e
UAF06L	1日間 42,000円

【e講義動画】アサーティブ・コミュニケーション	v
UVC25D	8週間 9,800円

聴くトレーニング～信頼関係を築くために～	e
UAF27L	0.5日間 20,000円

効果的なプレゼンテーション ：プレゼンテーションのプロセス	e
UNE08B	26週間 19,000円

効果的なプレゼンテーション ：プレゼンテーションの企画	e
UNE07B	26週間 19,000円

文章力を鍛える！ビジネス文書作成 トレーニング【文書添削】	e
UAF01B	28週間 60,000円

ビジネスメールスキルアップ研修 ～E-mail環境だけで学べる文章力研修～	e
UAP02D	16週間 4,500円

早わかり！SE文書作成のコツ	e
UEL44B	8週間 19,000円

◆業務遂行に必要なヒューマンスキルを習得させたい

タイムマネジメント ～時間を効果的に活用するために～	e
UAF26L	1日間 20,000円

心のしなやかさを鍛える ～レジリエンス・プログラム～	e
UAF51L	2日間 76,000円

能力開発：他人への影響力の強化	e
UNE40B	26週間 19,000円

能力開発：向上への自己の動機付け	e
UNE41B	26週間 19,000円

能力開発：自信を深める	e
UNE42B	26週間 19,000円

能力開発 ：コミュニケーションで信頼関係を築く	e
UNE43B	26週間 19,000円

◆プロジェクトメンバーの立場でプロジェクトのあり方を理解させたい

プロジェクトマネジメント超入門 ～プロジェクトの「ナゼ？」に答える～	e
UAP65L	1日間 30,000円

～こんなご要望はありませんか？～

新入社員研修後も継続して目指す人材像に必要なスキルを習得させたい。

若年層向けのおすすめコースを人材像別に紹介します。  
詳細は次ページ以降をご参照ください。

人材像別おすすめコースは次ページから

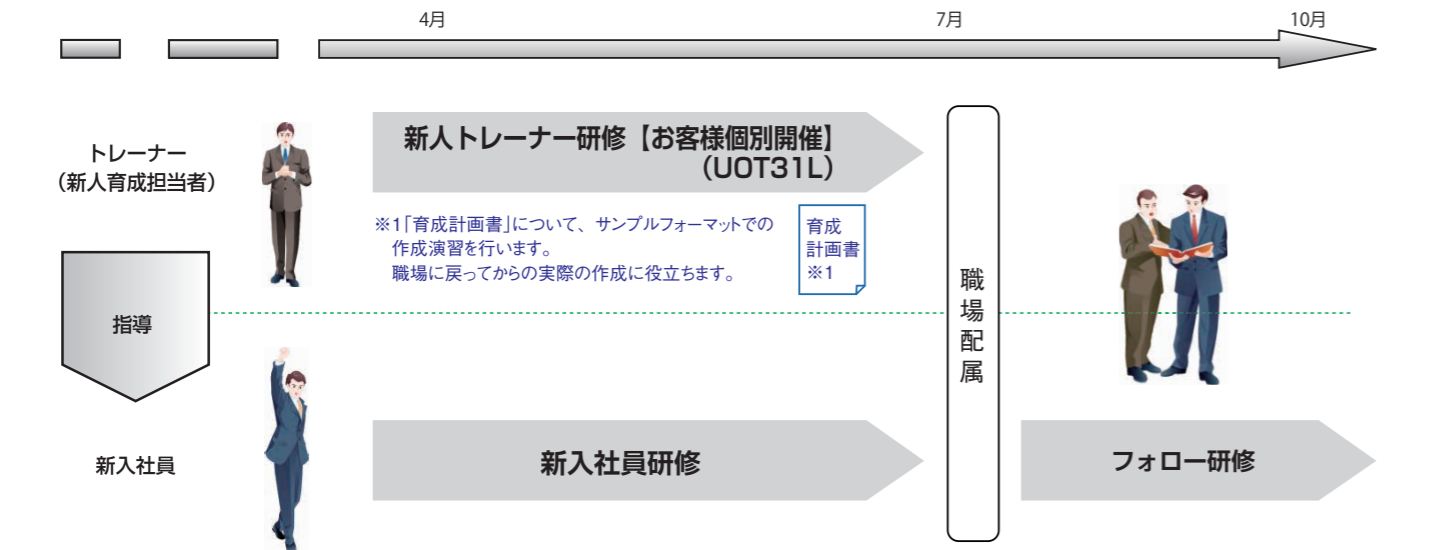
ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)				応用・実践			
入門・基礎							
●アプリケーション開発技術●							
◆プログラミングの基礎スキルを定着させたい							
COBOL				COBOLプログラム(基礎編)			
UBL77L 3日間 76,000円				UBL76L 3日間 76,000円			
C言語・C++				C言語プログラミングの基礎			
UBL87L 3日間 76,000円				【e講義動画】C言語プログラミング(ファイルアクセス編) UHD05D 8週間 9,800円			
【e講義動画】C言語プログラミングの基礎 UHD27D 8週間 9,800円				【e講義動画】C++プログラミングの基礎1(実習解説動画付き) UHD38D 8週間 9,800円			
C言語プログラミングの基礎(eラーニング) UEL46B 8週間 9,800円				【e講義動画】C++プログラミングの基礎2(実習解説動画付き) UHD39D 8週間 9,800円			
Java							
【クラウドラボ】実機で徹底! Javaアプリケーション編(前編) UCL08B 4週間 50,000円				【クラウドラボ】実機で徹底! Javaアプリケーション編(後編) UCL09B 4週間 50,000円			
◆Webアプリケーションを開発させたい							
プログラミング入門(Java編) UFN02L 1日間 28,000円				HTMLとCSSによるホームページ作成 UJS29L 2日間 61,000円			
Java SE 8プログラミングI UZL73L 3日間 153,000円				Java SE 8プログラミングII UZL74L 3日間 153,000円			
				JavaScriptプログラミング基礎 UJS36L 2日間 61,000円			
				サーバレット/JSP/JDBCプログラミング～Eclipseによる開発～ UFN06L 3日間 97,000円			
				【クラウドラボ】実機で徹底! JavaによるWebアプリケーション編 UCL07B 4週間 50,000円			
C#プログラミング基礎 UUM13L 3日間 102,000円				Visual StudioによるWebアプリの開発(Webフォーム基礎編) UUM14L 3日間 108,000円			
VBプログラミング基礎 UUM10L 3日間 102,000円				ASP.NET MVC 4 Webアプリケーションの開発(短縮) UUM11L 3日間 120,000円			
				JavaによるWebアプリケーション開発力養成トレーニング～実装/単体テスト～ UFN34L 3日間 135,000円			
				JavaEEによるRESTfulアプリケーション開発 UFN57L 3日間 97,000円			
				SpringによるWebアプリケーション開発(基礎編) UFN58L 2日間 84,000円			
				Visual StudioによるWebアプリの開発(Webフォーム応用編) UUM15L 2日間 61,000円			
◆セキュアなWebアプリケーションについて学習させたい							
				情報セキュリティ対策実践シリーズ Webアプリ開発におけるセキュリティ入門編 USA11L 1日間 34,000円			
◆アプリケーションのテストについて学習させたい							
プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の基礎 UZS08L 2日間 70,000円				単体テストにおけるJUnit活用 UFN44L 2日間 84,000円			
◆システム開発の基礎知識を習得させたい							
システム開発の基礎 UAS25L 1日間 43,200円				システム設計の基礎 UAS28L 1日間 43,200円			
				オブジェクト指向基礎～基本概念とUML～ UAV83L 2日間 76,000円			
				ユーザーインターフェース設計の基礎 UZS06L 1日間 42,000円			
●システム運用管理技術●							
◆システム運用管理の知識を習得させたい							
システム運用入門～運用起点でITサービスを考える～ UAW74L 1日間 36,000円				基礎から学ぶシステム運用管理・実践トレーニング～障害管理・変更管理・SLAなど～ UUW67L 2日間 70,000円			
ITサービスマネジメント超入門～身近な事柄からその意味を考える～ UAX29L 1日間 42,000円				【e講義動画】なるほどITIL概説～ITILの本質を理解する～ UHD17D 8週間 9,800円			
				ITサービスマネジメント基礎ワークショップ(ITIL2011対応)(試験つき) UAX30L 3日間 155,000円			

おすすめコース ー指導者向け研修ー

指導者の役割は、「新入社員を組織に認められる一人前に育てること」です。指導者が新入社員の特性を理解できているか、育成の方向性を示すリーダーシップや、本人のやる気を引き出すスキル、成長を支えるメンタルスキルを有しているかは、新入社員の成長を左右します。

新入社員の先輩社員やトレーナー、幹部社員の方などにオススメのコースをご紹介します。

【新入社員研修と連動した指導者向け研修の実施例】



※2018年8月時点の価格(税別)です。  
※コースの最新情報や詳細、最新の価格、お申込みについてはWebサイトをご確認ください。

指導者向け研修

◆組織のメンバーが新入社員の特性を理解する

職場での効果的な対人関係の構築 一人の行動スタイルの見分け方	心の状態から見えてくる!コミュニケーションのアプローチ ～エゴグラムの活用～
UAF17L 1日間 48,000円	UAF74L 1日間 42,000円

◆組織のメンバーが先輩社員としてのリーダーシップを発揮する

リーダーシップの開発 ：進路の先導	「アつの習慣(R)」for ICTプロフェッショナル～イノベーション・マインド～	リーダーの4つの役割 ：マネージャーとして、結果を残せる チームづくりの原則を学ぶ
UNE51B 26週間 19,000円	UAF24L 2日間 78,000円	UAF61L 2日間 97,000円

◆組織のメンバーが新入社員を効果的に指導する

新人トレーナー研修 【お客様個別開催】	体験型新人トレーナー研修 ～新入社員のやる気を引き出す コミュニケーション～	心のしなやかさを鍛える ～レジリエンス・プログラム～
UOT31L 2日間	UEL59B 8週間 30,000円	UAF51L 2日間 76,000円
コーチング： 部下との信頼関係の構築	コーチング： 部下とのコミュニケーション	ベーシック・コーチング ～相手の主体性とやる気を引き出す コツ～
UNE18B 26週間 19,000円	UNE20B 26週間 19,000円	UZE20L 2日間 89,000円
		プロジェクトリーダーに求められるモチベーションマネジメントスキル
		UZE47L 1日間 42,000円

※ご要望に応じて各コースをカスタマイズし、「お客様個別開催研修」としてのご提供も可能です。お気軽にご相談ください。 P.41

お客様個別開催研修(オンサイト・トレーニング)

こんなお悩みはありませんか？

当社ならではの要素を取り入れた新入社員研修を実施したい。

採用の幅が広がり、新入社員のITスキルにも差がある。知識の底上げはしっかり行いながらも、技術力がある者にはプラスアルファの要素を学習させたい。

内定者のうちから、業務で必要となる知識を少しずつ身につけさせたい。入社後の研修と一体感をもたせることはできないだろうか。

これまでの新入社員研修の内容が、現場で求められるスキルと合致していなかった。もっと現場に即した内容にしなければ。

限られた日数や時間の中で、新入社員を一定の水準まで成長させたい。

現場の社員と交流を持たせたい。何かよい企画はあるだろうか…。



お客様個別開催研修(オンサイト・トレーニング)であれば、ご要望をカリキュラムや運営に反映できます。人材育成の成功に向け、チームとして**お客様と一緒に考え解決します。**

まずは  
お気軽にご相談ください!

TEL:0120-55-9019(お客様総合センター)  
またはWebの「お問い合わせ」ページへ  
<http://www.knowledgewing.com/>

実施実績

(2018年度 個別開催研修実績 153社 5,763名)

- ・ 着実に技術力を身につける段階的なカリキュラムのご提供
- ・ 初級、中級、上級に分けたレベル別クラスの設定、運営
- ・ 個社専用の新入社員研修向け「受講ガイドライン」の作成
- ・ eラーニング(動画)と集合研修を組み合わせた内定者研修
- ・ 反転学習で行う、Javaプログラミング研修
- ・ 定例会にて研修受講中の新入社員の状況ご報告 etc

新入社員以外の階層に対する育成や、他階層と関連性を持った育成企画についてのお悩みも、ご相談ください。人材戦略、人材育成計画、研修体系をお客様と共に考え、目指すべき人材への成長をご支援します。

■階層別研修イメージ

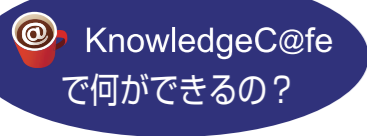
	動機付け	マインドセット	能力強化・向上	実践
管理職層			マネジメント研修	
			ビジネスリーダーのための行動実践ワークショップ	
中堅層			＜リーダースキル研修＞ リーダシップ/モチベーションマネジメント/部下育成/コーチング	
			＜個別スキル研修＞ 論理思考/問題解決/交渉/文書作成プレゼンテーション/ コミュニケーション/ファシリテーション/発想力/業務スキル など	一人前
若年層			＜専門スキル強化研修＞ 技術深掘、最新技術、職種別	
			フォローアップ研修	
新入社員			新入社員研修	
内定者	社会人への意識転換 期待される成長を認識		資格対策	

研修運営の効率アップを実現する受講管理システム(KnowledgeC@fe)

KnowledgeC@feとは、富士通ラーニングメディアが提供するLearning Management Systemです。企業や組織団体における人材育成を研修管理の側面から強力にサポートします。

インターネット環境さえあれば、研修会場から離れたオフィスからでも、新入社員の受講状況の参照やコミュニケーションが可能です。KnowledgeC@feを、貴社専用の研修運営ポータルサイトとしてご活用いただくことで、「みんなで新入社員を育てる」体制を実現できます。

運営業務の品質を高め、研修の企画や社員育成にパワーシフトしたい育成ご担当者様のご要望にお応えします。



KnowledgeC@fe  
で何ができるの？

1. テストやアンケートの自動集計、合否判定、即時結果表示

2. モバイル端末に対応！学習の促進（※）

3. フォーラム(掲示板機能)でのコミュニケーション

4. データのアップロード(回収)やダウンロード(配布)

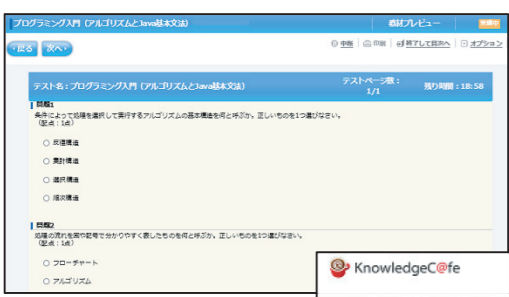
5. 内定者や新入社員への連絡事項を「お知らせ」に掲載

※動作環境要確認

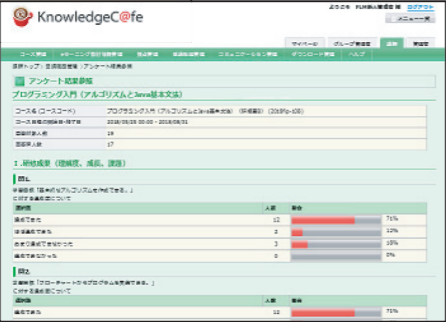
**離れた場所から受講状況を即時確認できるため、**  
**オフィスと研修会場間の移動時間が削減でき、他の業務にパワーシフトが可能**です。


利用例

- フォーラム(掲示板機能)で、双方向のコミュニケーションを実現。また、育成担当者と受講者の1対1のフォーラムも可能なので、悩み相談室のような使い方も。
- アンケートやテストを実施し、受講者の本音やIT知識の差をリアルタイムで確認。直後の研修運営や、メンタルフォローに反映。
- 新入社員がアップロードした自社フォーマットの日報データを確認。 etc...



上：テスト実施画面イメージ  
右：アンケート結果確認画面イメージ





KnowledgeC@feの特徴

KnowledgeC@feは、富士通のノウハウとオープン技術を融合したクラウドサービス「FUJITSU Cloud Service K5」上で稼動し、**強固なセキュリティ環境で大規模ユーザーにも安定したサービスを提供**しています。

**スマートフォンやタブレットなどにも対応**しており、小型端末に最適化された画面で、外出の多い育成ご担当者様でも、**移動中に閲覧・確認が可能**です。

新入社員研修だけでなく、社内に向けたeラーニングの提供にも利用できます。  
ぜひ、ご導入いただき、積極的にご活用ください。

動作環境など詳細は、当社のWebページでご確認ください。 <http://www.knowledgewing.com/kcc/cafe/>

1 お申し込み方法

方法1 申込書によるお申込み

《お客様総合センター》

TEL: 0120-55-9019 予約承り時間：9:00～17:30（土曜、日曜、祝祭日を除く）  
E-mail 送信先 [flm-contact@cs.jp.fujitsu.com](mailto:flm-contact@cs.jp.fujitsu.com)

- STEP1

電話での確認

- 申込書をお送りいただく前に、お客様総合センターへの電話でお席を予約されることをお勧めします。ご希望のコースコードと日程に空席があれば、その場でお席をお取りします。

お客様総合センター TEL:0120-55-9019

  - ご予約内容と『受付番号』をE-mailで通知します。 ※ご予約は先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
- STEP2

申込書ファイルのダウンロードと入力

- お申込みの際には、専用の申込書ファイルを当社Webサイトよりダウンロードし、ご利用ください。

<http://www.knowledgewing.com/kw/shinjin/omousikomi.html>

  - 事前に電話で席を予約された場合には、『受付番号』を受付番号欄にご記入ください。
- STEP3

申込書ファイルの送信(E-mail)

- お申込み内容を入力した申込書ファイルをE-mailに添付し、お客様総合センターへ送信してください。 ※ご予約を取り消す場合は、必ずお客様総合センターへご連絡ください。

お客様総合センター E-mail送信先: [flm-contact@cs.jp.fujitsu.com](mailto:flm-contact@cs.jp.fujitsu.com)
- STEP4

当社にて申込書の受信確認(お申込み完了)

- お申込み手続き完了後、お申込み内容確認のE-mailを『受付番号』ごとに送信します。
  - お申込みの受領後、請求書を発行いたします。受講料は、請求書に記載の期日までにお支払いください。（請求書は、コースのご受講後に届く場合もあります。）
  - お申込み総数が所定の人数に達しない場合には、コースが中止になる場合があります。ご了承ください。
  - 2019年10月以降に開講するコースのお申込み手続きの開始は、2019年4月以降になります。2019年3月までにお送りいただいた申込書は、当社にて預かりいたします。

方法2 当社Webサイトによるお申込み

当社Webサイトによるお申込み手順は、下記のWebページをご覧ください。  
『おすすめコース(内定者向け／若年層向け／指導者向け)』のお申込み方法についても、同Webページにてご確認ください。

[http://www.knowledgewing.com/kw/entry/j\\_web.html](http://www.knowledgewing.com/kw/entry/j_web.html)

助成金を活用した人材育成の詳細は、当社Webサイトをご覧ください。  
<http://www.knowledgewing.com/kw/subsidy/career.html>  
(注) 制度内容などの詳細については、厚生労働省のWebサイトにてご確認ください。

申込書によるお申込み(方法1)の締切日は、講習会開始日の**10営業日前**です。  
当社Webサイトによるお申込み(方法2)の締切日は講習会開始日の**12営業日前**です。

※締切日以降のお申込みのご相談は、お客様総合センターへお問い合わせください。

2 お申込みのキャンセル／日程変更

- STEP1

キャンセル／日程変更通知書の記入

- お申込み時にご記入いただいた申込書を「キャンセル／日程変更通知書」として、再度ご使用ください。
  - 受講者様ごとに、キャンセル／日程変更するコースの受講者様欄に「■」をご記入ください。
- STEP2

キャンセル／日程変更通知書の送信(E-mail)

- 「キャンセル／日程変更通知書」をE-mailに添付し、お客様総合センターへ送信してください。
  - 受講料をすでにお支払い済の場合は、「キャンセル／日程変更通知書」の受領を確認次第、「(当社宛)請求書」をお送りいたします。この請求書にご記入・捺印のうえ、郵送にてご返送ください。後日返金いたします。

キャンセル／日程変更の締切日は、講習会開始日の**3営業日前**です。

※締切日を過ぎてからのキャンセル／日程変更はお受けできません。ご了承ください。(受講料の返金はいたしかねます。)

お申込みいただいたお客様へのご案内 ～育成ご担当者様向け資料ダウンロードページ～

2019年3月頃に、「育成担当者様へのお願い事項」や「受講のしおり」、「受講管理システム利用手引き」などの資料ダウンロードウェブページを開設します。ご利用方法につきましては、弊社から別途ご案内を差し上げます。